

平成21年度
牧之原市市民意識調査
～ 報告書 ～

平成22年3月
牧之原市

● ● ● 目 次 ● ● ●

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査項目	1
	(3) 調査の設計	1
	(4) 回収状況	1
2	調査結果	2
	(1) 調査結果の要約	2
	(2) 調査結果の詳細	6
	< 牧之原市に居住することについてお聞きします >	6
	< 合併後4年間のまちづくりについてお聞きします >	14
	< 市からの情報提供についてお聞きします >	16
	< 牧之原市の協働の取り組みについて、お聞きします >	20
	< 市の取り組みについて、満足度・重要度をお聞きします >	24
	< 市の取り組みへの提案や意見、日ごろの生活の中で感じていることをお聞きします >	41
	回答者の属性	43

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「第1次牧之原市総合計画」の「実施計画」(戦略プラン)に基づいた様々な取り組みに対し、市民の生活環境やまちづくりの進め方についての評価・意見を把握し、今後の市政に反映させることを目的に実施する。

(2) 調査項目

- ・ 牧之原市に居住することについて
- ・ 合併後4年間のまちづくりについて
- ・ 市からの情報提供について
- ・ 牧之原市の協働の取り組みについて
- ・ 市の取り組みへの提案や意見、そのほか、日ごろの生活の中で感じていること
- ・ 回答者の属性

(3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の20歳以上の男女
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成22年1月10日～平成22年1月25日
- ・ 発送数：1,300通

(4) 回収状況

発送数（対象者数）	有効回収数	有効回収率
1,300人	572人	44.0%

(回収数574人のうち無効票2人)

◎ 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してある。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

2 調査結果

(1) 調査結果の要約

牧之原市に居住することについて

◆牧之原市に「住み続けたい」は7割以上

今の住まいの場所での定住意向は、「住み続けたい」が71.0%で最も多く、平成19年度以降で最も高くなっている。一方、「市外へ移りたい」は15.4%で、「市内の他の場所へ移りたい」「わからない」「無回答」と回答した人が減少しているため、市外への移住意向も増加している。

◆住み続けたい理由のトップは、「生まれ故郷だから」で約6割

住み続けたい理由は、「生まれ故郷だから」が62.6%で最も多く、次いで「知人や親戚が住んでいるから」が49.3%、「自然環境が豊かだから」が44.1%の順となっている。

◆他の地域へ移りたい理由のトップは、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」で約4割

他の地域へ移りたい理由は、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が43.8%で最も多く、次いで「通勤・通学などに交通が不便だから」が37.5%、「故郷ではないから」が17.9%の順となっている。

◆牧之原市に愛着を感じる人は約半数、感じない人は1割弱

牧之原市に愛着を「感じる」と回答した人は48.1%で、昨年度よりも約2割減少している。一方、「感じない」と回答した人は8.6%で、「どちらともいえない」と回答した人が増加しているため、こちらも減少傾向となっている。

合併後4年間のまちづくりについて

◆牧之原市となって市政全般が『良くなった』は1割未満、『悪くなった』は約3割

合併後の市制全般については「変わらない」が42.5%で、最も多いものの、良くなった（「大いに良くなった」＋「ある程度良くなった」）と回答した人が6.1%に対して、悪くなった（「やや悪くなった」＋「非常に悪くなった」）と回答した人は32.3%と、かなりの差がみられる。悪くなったところとして、多くの人が「榛原病院の経営状況」のことを挙げている。

市からの情報提供について

◆市からの情報発信に対して、満足派は約4割、不満派は約1割

市からいろいろな情報が発信されていると思う人（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は42.5%、思わない人（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は9.6%となっている。

◆市からの情報が役に立っている人は増加傾向で、5割弱

市から発信している情報が役に立っていると思う人（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は45.6%で、2年連続増加している。一方、役に立っていないと思わない人（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は11.0%となっている。

◆市の取り組みや行事に関する情報の入手手段は「広報紙」が圧倒的に多い

市の取り組みや行事の情報を知る手段は、「広報紙」が76.4%で圧倒的に多く、次いで「家族や知人、近所の人のお話」が33.2%、「議会だより」が32.9%の順で、平成19年度以降、同じ傾向が続いている。

牧之原市の協働の取り組みについて

◆協働の取り組みが進んでいると思う人は1割強、進んでいないと思う人は約半数

協働の取り組みについては、進んでいない（「あまり進んでいるとは思わない」＋「進んでいるとは思わない」）と回答した人が51.9%と、過半数を占めている。一方、進んでいる（「進んでいると思う」＋「以前に比べ進んでいると思う」）と回答した人は13.6%に留まっている。また、協働での取り組みが進んでいる分野は、「防災対策への取り組み」が最も多くなっている。

◆行政サービスに対する考え方は、「市民生活に直接関係ない取り組みの経費を削除」と「現状を市民に知らせることが必要」が拮抗しており、ともに3割弱

財政状況が大変厳しい状況の中での行政サービスについては、「市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減」が28.3%で最も多く、次いで「現状を市民に知らせることが必要」が26.7%、「一部のサービスは向上させるなど、メリハリをつけた取り組み」が15.2%の順となっている。

◆《自治体体質の強化》分野における最重要課題は「行政改革の取り組み」

自治体体質の強化分野では、「行政改革の取り組み」の満足度の評価点【-2点から2点の相対評価】が-0.57点で最も低くなっている。一方、重要度の評価点は0.83点と最も高くなっており、この分野では、「行政改革の取り組み」が最重要課題といえる。

◆「救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建」は、全取り組みの中での最重要課題

「救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建」の満足度の評価点が-1.30点と、健康福祉分野に限らず、すべての取り組みの中で、最も満足度が低い項目となっている。一方、重要度の評価点は1.29点と、こちらもすべての取り組みの中で最も高くなっており、市政全体における最重要課題といえる。

◆「学校や地域で子どもたちを守る取り組み」は重要度が高いが、満足度も高い

生涯学習分野では、「学校や地域で子どもを守る取り組み」の重要度の評価点が0.91点で最も高くなっているが、満足度の評価点も0.58点と、この分野での最高点となっている。

◆ 《安全安心社会》分野では、重要度が高い取り組みが多い

安全安心社会分野では、重要度の評価点が1点以上の取り組みが7項目中4項目（「自主防災組織の強化のための取り組み」「震災・火災・水害・浸水対策への取り組み」「幼稚園・保育園の整備」「小・中学校施設の整備」）あり、分野としては、市政の中で最重要分野といえる。

◆ 《生活環境》分野では、「公共交通の充実（バス交通など）」の満足度が低い

生活環境分野では、「公共交通の充実（バス交通など）」の満足度の評価点が-0.56点で最も低くなっている。一方、重要度の評価点では「ゴミの収集回数や処理方法」が0.91点で最も高くなっている。

◆ 《まちの活性化》分野では、満足度が低い取り組みが多い

まちの活性化分野では、6項目中5項目において、満足度の評価点がマイナス値となっており、市民があまり満足していない分野といえる。特に「観光客促進のための取り組み」と「企業誘致の取り組み」は-0.5点を下回っている。

◆ 《地場産業等の活性化》分野の全取り組みは、満足度がマイナスで、重要度がプラス

地場産業等の活性化分野では、7項目すべての取り組みにおいて、満足度の評価点がマイナス値となっている。さらに、重要度の評価点はすべてプラス値となっている。

市の取り組みへの提案や意見、そのほか、日ごろの生活の中で感じていること

◆ 市で取り組むべきこと・取り組んでほしいことに479件の意見

市で取り組むべきこと・取り組んでほしいことを自由意見の形式で尋ねたところ、479件の様々な意見が寄せられた。その中で、最も多くの人から挙げられた事項は「地域病院医療の充実を望む声」となっている。

◆ 日ごろ喜びや怒りを感じたり、不満に思っていることに469件の意見

日ごろ喜びや怒りを感じたり、不満に思っていることを自由意見の形式で尋ねたところ、469件の様々な意見が寄せられた。その中で、最も多くの人から挙げられた事項は、市への要望としても意見が多かった「地域病院医療の充実を望む声」となっている。

～ すべての取り組みの満足度・重要度の評価点順位 ～

■■■ 満足度 ■■■

■■■ 重要度 ■■■

順位	取り組み	分野	評価点	順位	取り組み	分野	評価点
1	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.58	1	救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建		1.29
2	幼稚園・保育園の整備		0.58	2	小・中学校施設の整備		1.11
3	小・中学校施設の整備		0.56	3	幼稚園・保育園の整備		1.09
4	教養を高める機会やサークル活動への参加機会の提供		0.53	4	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		1.08
5	上水道施設整備の取り組み		0.49	5	乳幼児医療費制度		1.05
6	乳幼児医療費制度		0.45	6	自主防災組織の強化のための取り組み		1.04
7	健康相談などの日常的な保健活動		0.45	7	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.93
8	健康づくりサービスの推進		0.32	8	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.91
9	市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信		0.32	9	ゴミの収集回数や処理方法		0.91
10	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.32	10	行政改革の取り組み		0.83
11	ゴミの収集回数や処理方法		0.31	11	障害者への福祉サービスの取り組み		0.81
12	公共スポーツ施設の整備		0.29	12	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		0.79
13	自主防災組織の強化のための取り組み		0.28	13	市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信		0.78
14	各種イベントの開催		0.24	14	生活環境対策などへの取り組み		0.77
15	子育て支援の取り組み		0.20	15	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		0.77
16	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.18	16	企業誘致の取り組み		0.74
17	自然環境の保全への取り組み		0.16	17	福祉施設などの整備		0.74
18	公害の予防・防止への取り組み		0.16	18	上水道施設整備の取り組み		0.70
19	文化や歴史の活用などの取り組み		0.15	19	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み		0.68
20	障害者への福祉サービスの取り組み		0.12	20	子育て支援の取り組み		0.66
21	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.12	21	道路交通の安全対策(歩道などの整備)		0.55
22	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		0.10	22	公害の予防・防止への取り組み		0.50
23	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み		0.09	23	健康づくりサービスの推進		0.49
24	情報通信技術(IT)の環境整備の取り組み		0.09	24	観光誘客促進のための取り組み		0.48
25	生活環境対策などへの取り組み		0.07	25	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		0.48
26	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業		0.01	26	公共交通の充実(バス交通など)		0.48
27	自治会の住民自治活動への支援		-0.02	27	道路や河川の補修や道路や河川の整備		0.46
28	道路や河川の補修や道路や河川の整備		-0.05	28	茶業安定のための施策の取り組み		0.46
29	公園・緑地の管理や整備の取り組み		-0.05	29	特産品の消費推進の取り組み		0.44
30	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		-0.11	30	空港を活用するための取り組みの推進		0.40
31	福祉施設などの整備		-0.12	31	農漁業の担い手への支援の取り組み		0.39
32	道路交通の安全対策(歩道などの整備)		-0.15	32	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業		0.35
33	商工業の振興施策の取り組み		-0.15	33	旧町間の格差を取り除く、市の一体感の醸成を図る		0.34
34	音楽や演劇などの接する機会の提供		-0.18	34	健康相談などの日常的な保健活動		0.33
35	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		-0.19	35	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.32
36	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		-0.21	36	自治会の住民自治活動への支援		0.31
37	茶業安定のための施策の取り組み		-0.25	37	商工業の振興施策の取り組み		0.28
38	特産品の消費推進の取り組み		-0.33	38	商店街の魅力向上の取り組み		0.23
39	空港を活用するための取り組みの推進		-0.34	39	情報通信技術(IT)の環境整備の取り組み		0.22
40	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み		-0.37	40	自然環境の保全への取り組み		0.21
41	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		-0.41	41	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み		0.19
42	商店街の魅力向上の取り組み		-0.48	42	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		0.18
43	企業誘致の取り組み		-0.50	43	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.16
44	観光誘客促進のための取り組み		-0.53	44	公園・緑地の管理や整備の取り組み		0.13
45	旧町間の格差を取り除く、市の一体感の醸成を図る		-0.56	45	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		0.11
46	公共交通の充実(バス交通など)		-0.56	46	教養を高める機会やサークル活動への参加機会の提供		0.01
47	行政改革の取り組み		-0.57	47	公共スポーツ施設の整備		-0.04
48	農漁業の担い手への支援の取り組み		-0.58	48	文化や歴史の活用などの取り組み		-0.16
49	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		-0.80	49	音楽や演劇などの接する機会の提供		-0.29
50	救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建		-1.30	50	各種イベントの開催		-0.31

*分野の凡例

■ 自治体体質の強化

■ 健康福祉

■ 生涯学習

■ 安全安心社会

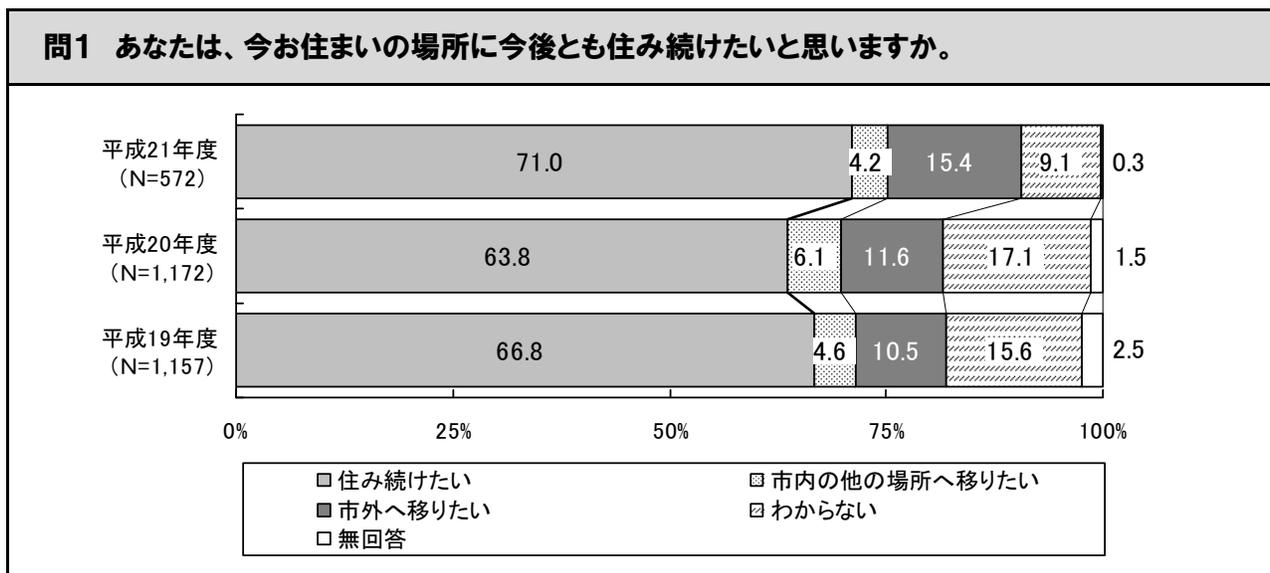
■ 生活環境

■ まちの活性化

■ 地場産業等の活性化

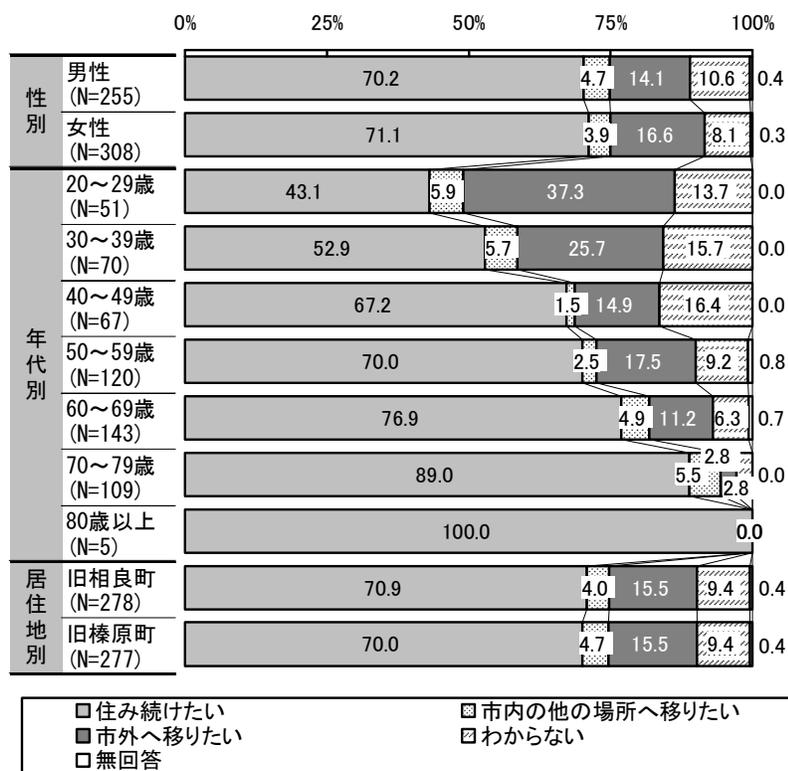
(2) 調査結果の詳細

<牧之原市に居住することについてお聞きします>



「市外へ移りたい」がやや増えているものの、「市内の他の場所へ移りたい」「わからない」「無回答」が減少しており、牧之原市に「住み続けたい」が71.0%と、昨年度よりも7.2ポイント増えており、この3年間で最も高い割合となっている。

クロス集計



【性別】

「市外へ移りたい」は女性が16.6%で、男性よりも2.5ポイント高くなっている。

【年代別】

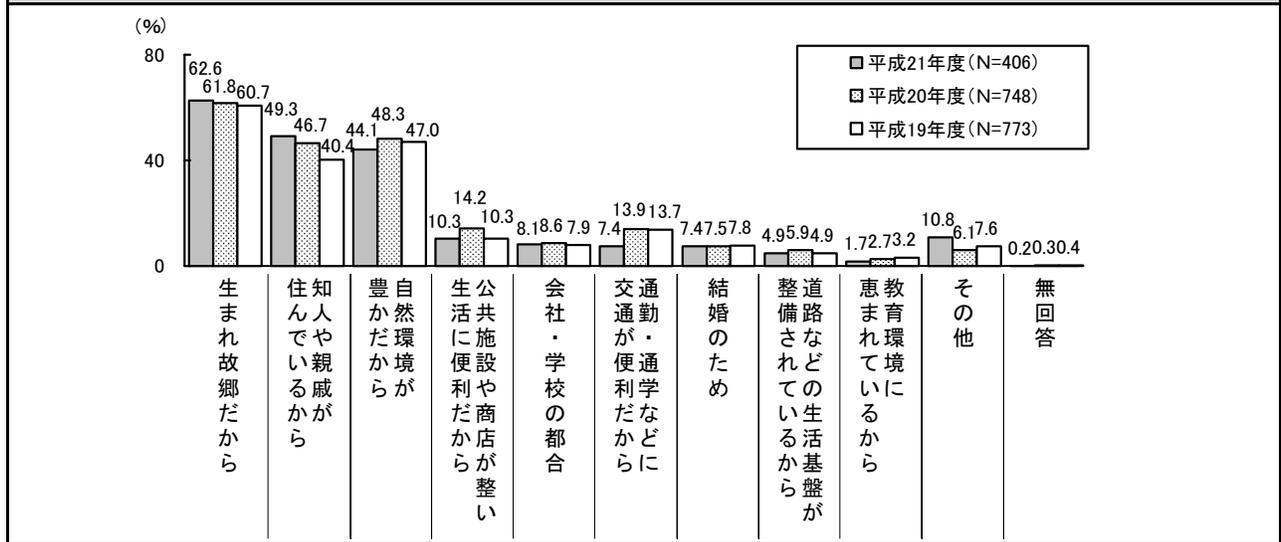
年代が上がるほど「住み続けたい」が高くなっている。一方、若い世代では「市外へ移りたい」という回答も多く、居住地に対してあまりこだわりのないのがみてとれる。

【居住地別】

旧相良町も旧榛原町もほとんど差はみられない。

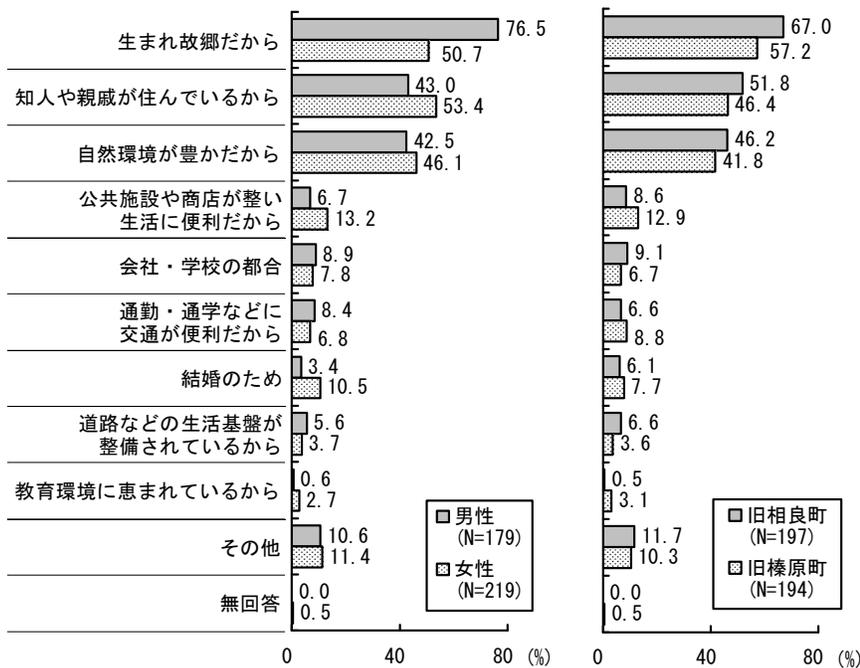
(問1で「1 住み続けたい」と答えた方にお聞きします)

問2-1 住み続けたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



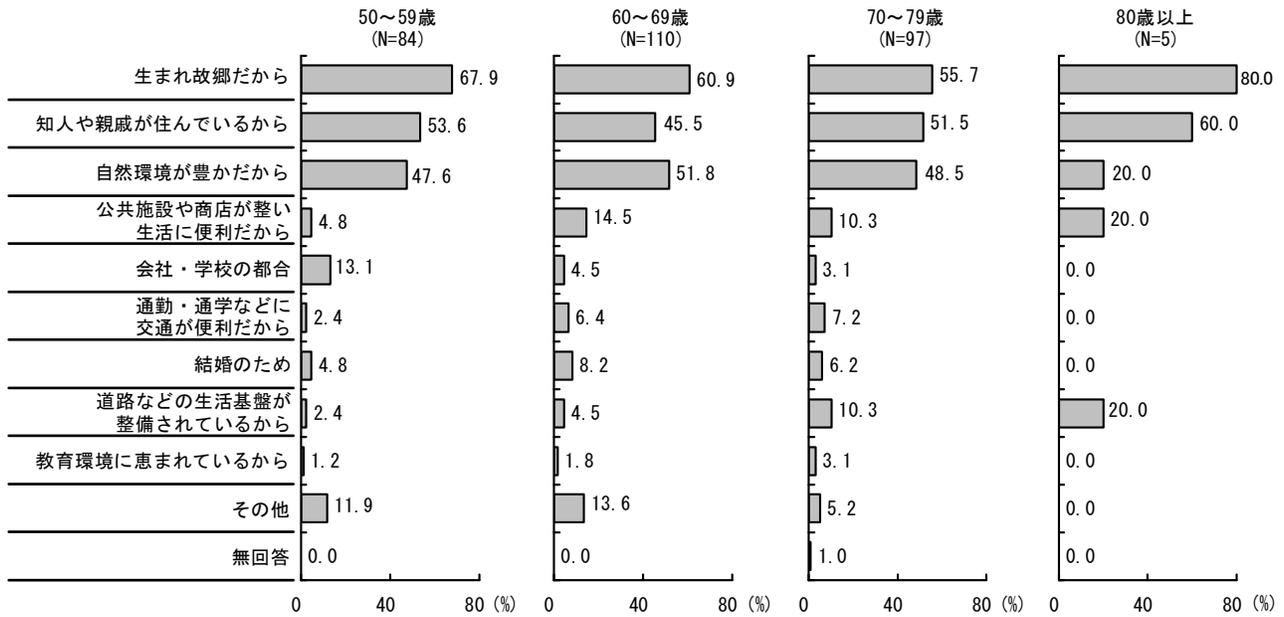
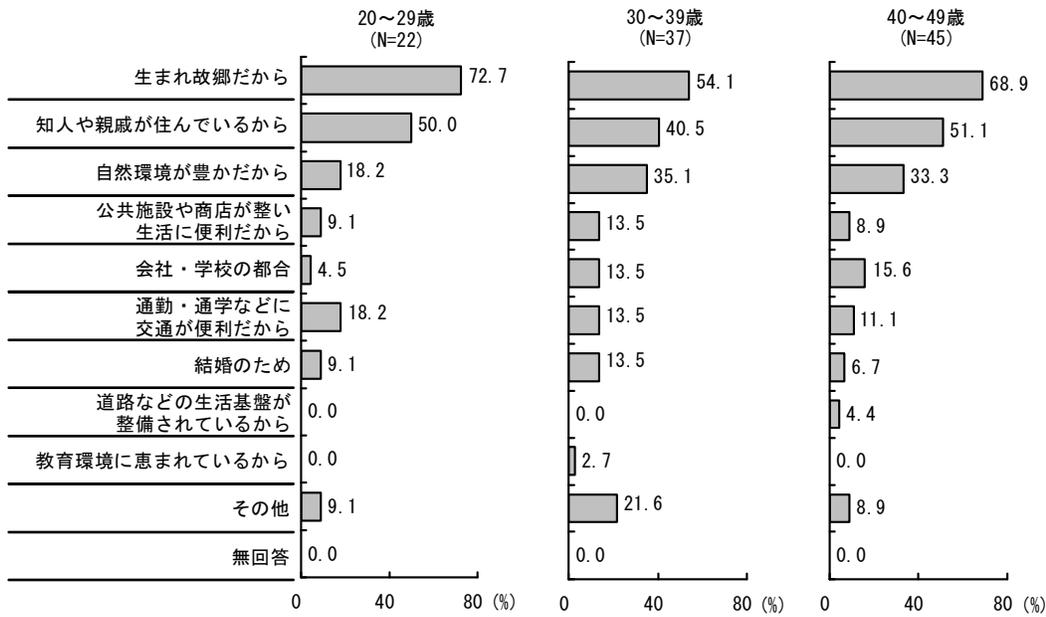
問1で牧之原市に「住み続けたい」と回答した406人の理由は、「生まれ故郷だから」が62.6%で最も多く、次いで昨年度同様「知人や親戚が住んでいるから」「自然環境が豊かだから」が続いている。「知人や親戚が住んでいるから」は、昨年度より2.6ポイント上がっており、年々上昇する傾向がみられる。

クロス集計



【性別】
男性は「生まれ故郷だから」が76.5%と圧倒的に多くなっている。また、女性では「知人や親戚が住んでいるから」が53.4%と過半数を超え、男性より10ポイント上回っている。

【居住地別】
上位3項目に関しては旧相良町の方が高く、最も多い「生まれ故郷だから」は67.0%と、旧榛原町より10ポイント近く上回っている。

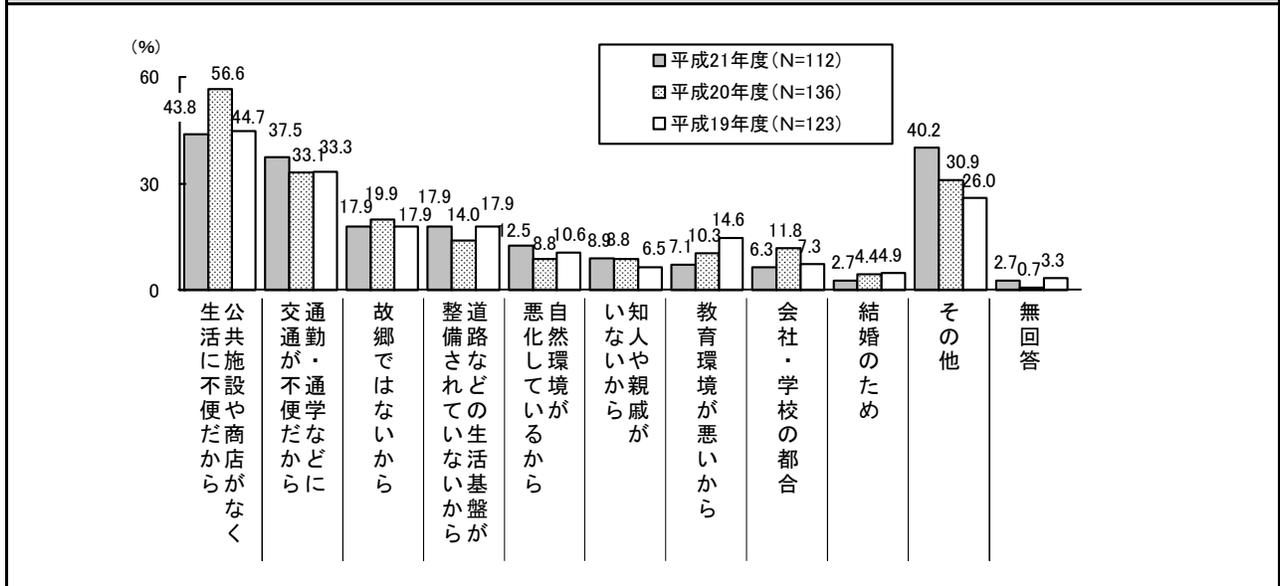


【年代別】

「生まれ故郷だから」はすべての年代で過半数を占めているが、特に20代は72.7%と高い割合になっている。「知人や親戚が住んでいるから」もすべての世代で40%を超えている。

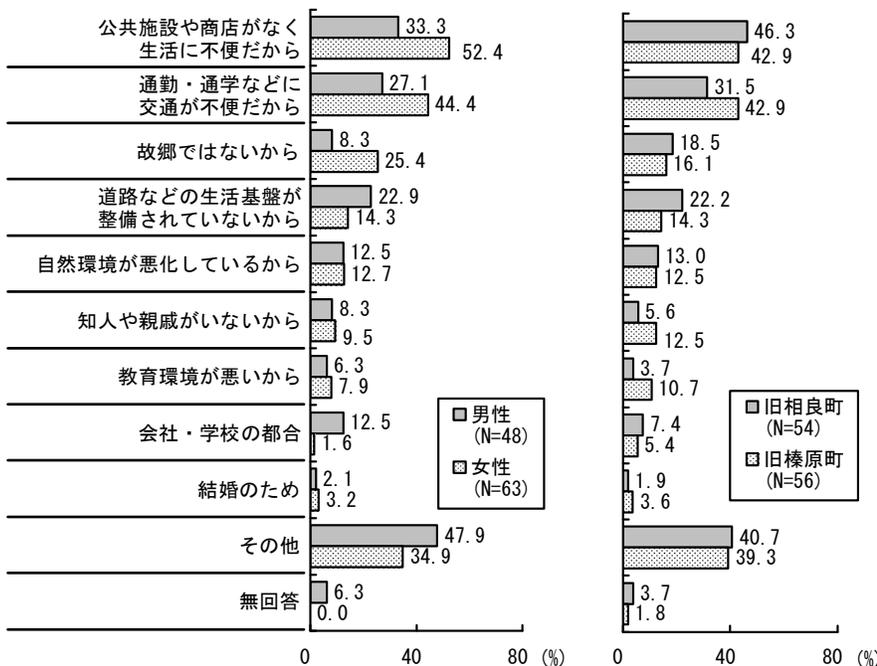
(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2-2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



問1で「市内の外の場所へ移りたい」「市外へ移りたい」と回答した112人の他の地域へ移りたい理由は、昨年度よりも10ポイント以上減っているものの、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が43.8%で最も多く、次いで「通勤・通学などに交通が不便だから」が続いており、昨年度と同順になっている。

クロス集計

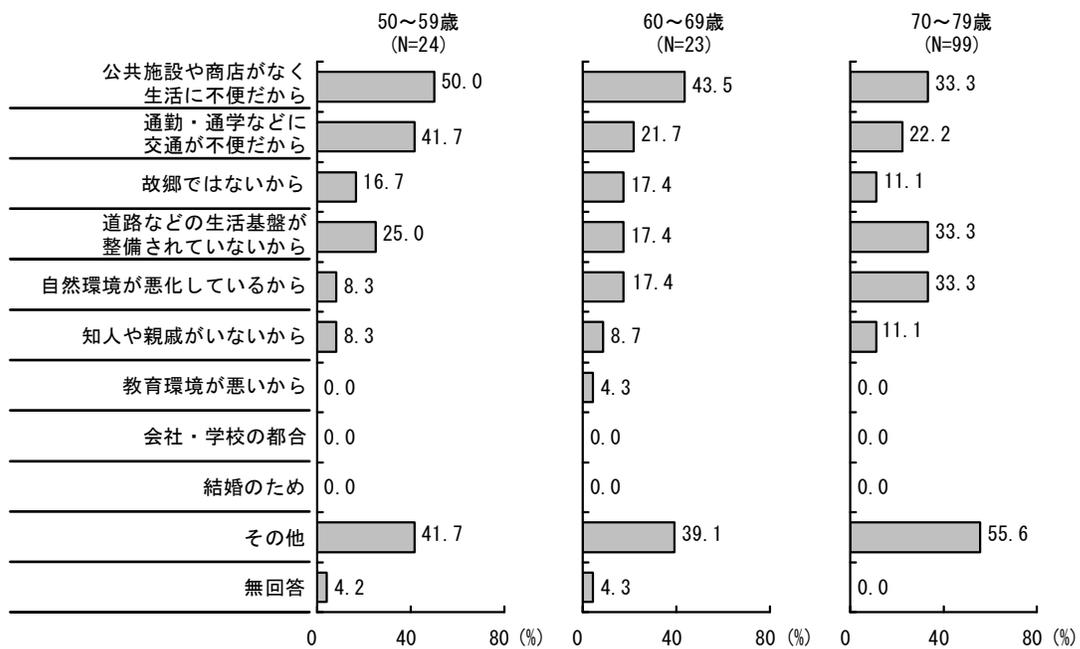
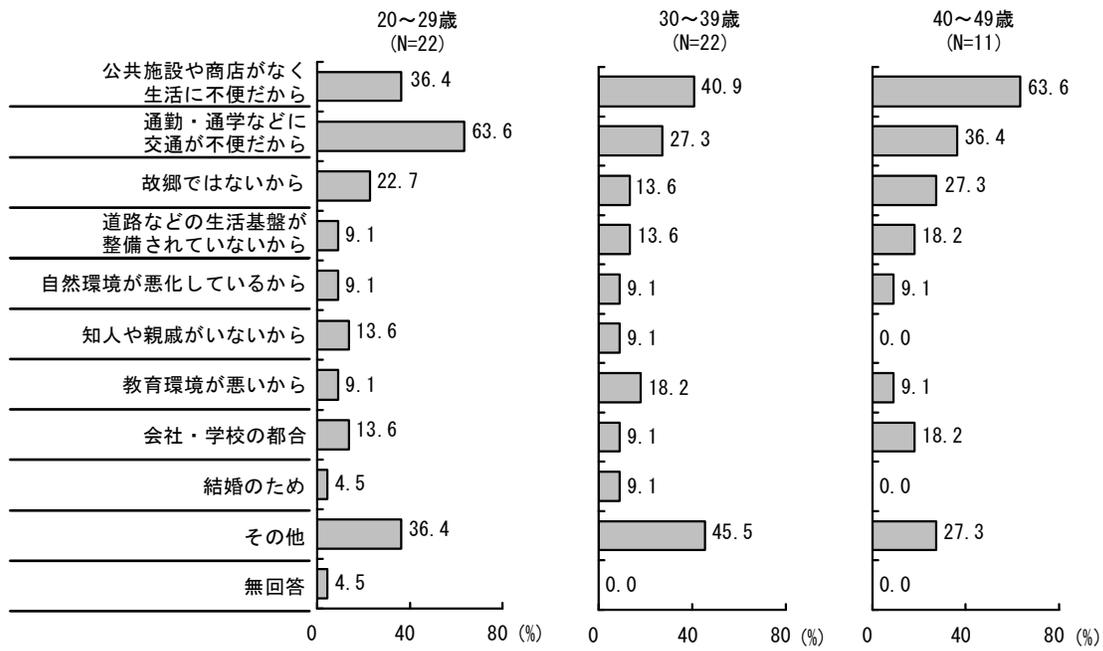


【性別】

「公共施設や商店がなく生活に不便だから」「通勤・通学などに交通が不便だから」「故郷ではないから」の上位3項目については、女性の方が男性よりも2割以上多くなっている。

【居住地別】

最も多い「公共施設や商店がなく生活に不便だから」では、旧相良町と旧榛原町の差は大きくないが、2番目の「通勤・通学などに交通が不便だから」では、旧榛原町の方が1割以上多くなっている。



【年代別】

「公共施設や商店がなく生活に不便だから」はいずれの年代でも多くなっており、特に40代では6割以上を占めている。また、20代のみ「通勤・通学などに交通が不便だから」が最も多く63.6%となっている。(80歳以上は、問1で「市内の外の場所へ移りたい」「市外へ移りたい」と回答した人がいないため、割愛している。)

(問2-2で「3 通勤・通学などに交通が不便だから」と回答した方にお聞きします。)

問3 どのように不便ですか。その理由を記入してください。

* 通勤・通学などに不便を感じる代表的な理由 (ほぼ原文どおり)

- ・公共交通機関がなさすぎる 市外へ行くのに時間がかかりすぎる。
- ・バスが少ない、バスの便が悪い。
- ・駅がない、駅までが遠い。
- ・静岡空港が近くにできたのに、自家用車以外のアクセスが不便である。
- ・自家用車の運転ができないと、生活ができない。(高齢者には、とても困る。)
- ・主要道路がなく、通学路に通勤車両がよく通るため危険である。
- ・学校まで4 km も子どもが歩いていかなくてはならない。

問2-2で「3 通勤・通学などに交通が不便だから」と回答した42人の主な理由は、電車やバスなどの公共交通機関がない(あるいは、少ない)ため、車に頼らなければならないといった回答が多くを占めている。

(問 2-2 で「7 公共施設や商店がなく生活に不便だから」と回答した方にお聞きます。)

問4 どんな施設があれば良いとお考えですか。 その施設などを記入してください。

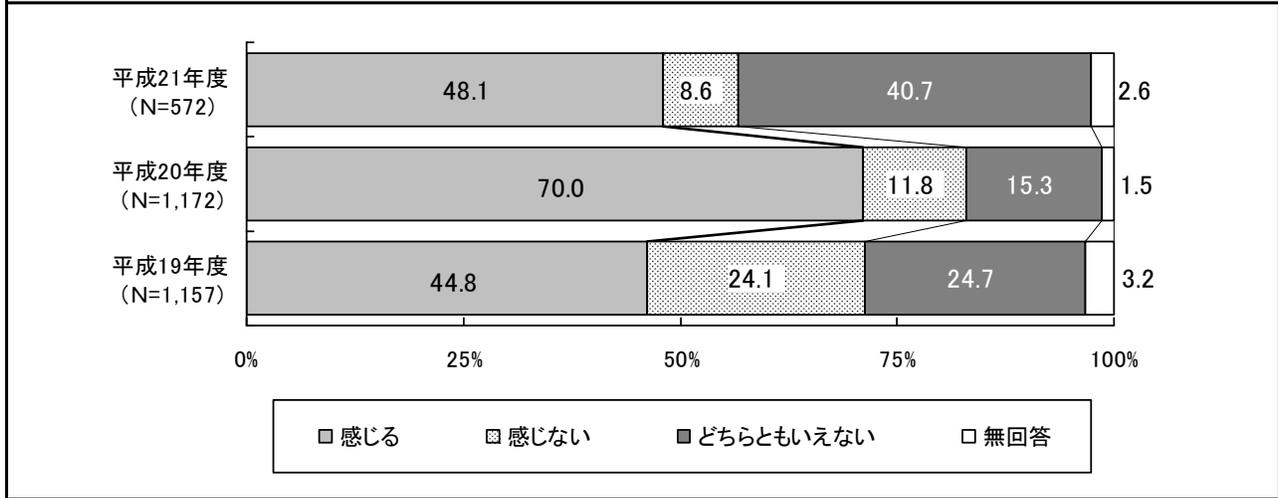
* 欲しい施設の代表的な意見

- | | |
|---------------|-----------------|
| ・図書館 | ・病院 |
| ・老人ホーム | ・警察署 |
| ・公園 | ・運動施設 |
| ・市民ホール | ・駅 |
| ・スーパー | ・ファーストフード・ファミレス |
| ・コンビニ | ・映画館 |
| ・大型ショッピングセンター | ・アミューズメントパーク |

問 2-2 で「7 公共施設や商店がなく生活に不便だから」と回答した 49 人の欲しい主な施設は、図書館や病院、警察署といった公的な施設から、コンビニや大型ショッピングセンター、アミューズメントパークといった買い物・レジャー施設まで、多岐に渡っている。

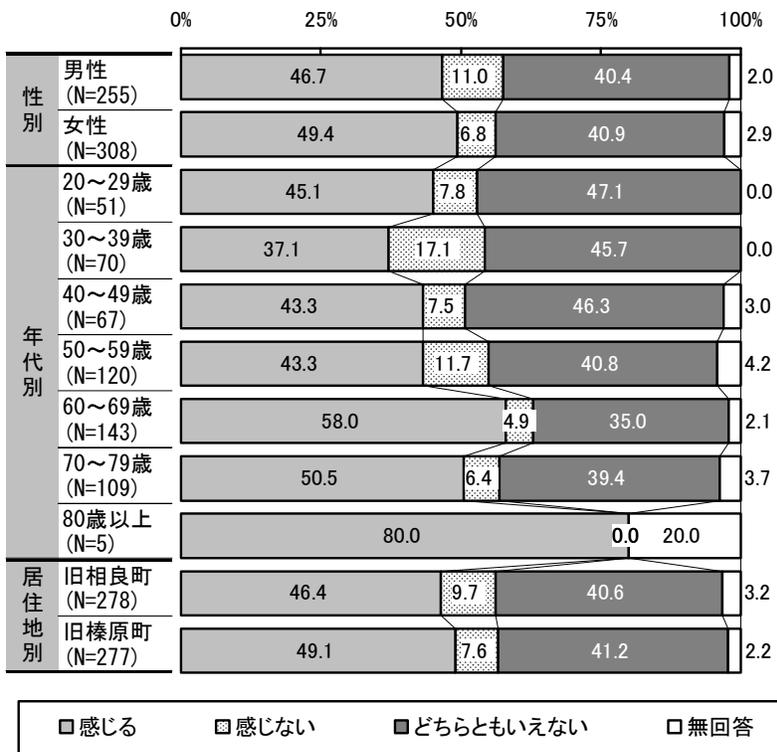
問5 あなたは、牧之原市に愛着を感じていますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。

※「愛着」…牧之原市への思いを持ち続けたいという気持ちなど



牧之原市に愛着を「感じる」が48.1%と、昨年度より21.9ポイント減少して、平成19年度結果とほぼ同じ割合となっている。一方、「感じない」は2年連続減少して、1割以下となっている。

クロス集計



【性別】

さほど大きな差はみられないが、女性の方が男性よりもやや愛着を「感じる」回答が高くなっている。

【年代別】

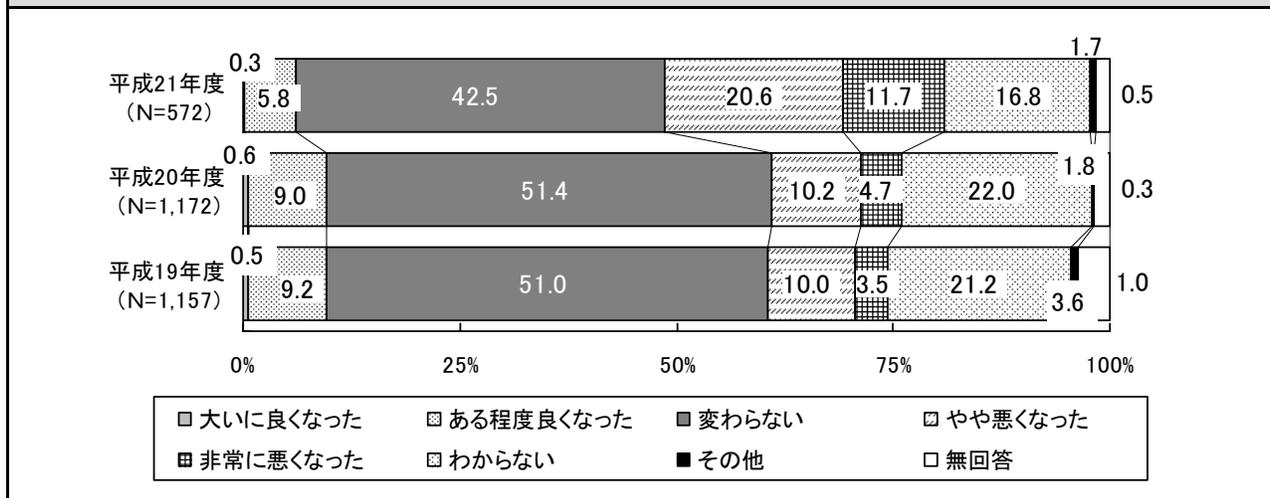
40代までは「どちらともいえない」が愛着を「感じる」を上回っており、おおむね年代が高くなるほど愛着を感じる割合が増加する傾向がみられる。

【居住地別】

旧榛原町の方がやや愛着を感じる割合が高くなっている。

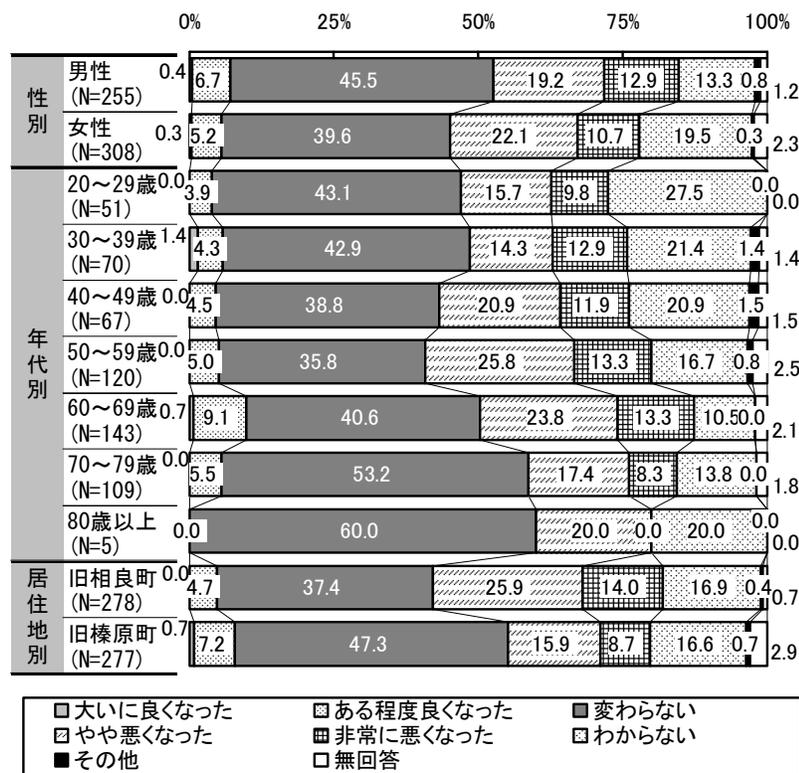
<合併後4年間(平成17年10月～平成21年10月)のまちづくりについてお聞きします>

**問6 あなたは牧之原市となって市政全般がどのように変化しましたと思いますか。
あてはまるものに1つ○印をつけてください**



牧之原市となってからの市政全般について、「変わらない」が42.5%で最も多く、「やや悪くなった」「非常に悪くなった」の合計が32.3%と、昨年度や一昨年度の結果に比べて、マイナス評価の割合が高くなっている。

クロス集計



【性別】

男性は「変わらない」と感じる人が45.5%と、女性よりも6.0ポイント多く、「やや悪くなった」「非常に悪くなった」については性別による違いはほぼみられない。

【年代別】

いずれの年代も「変わらない」が多いが、50代では「やや悪くなった」「非常に悪くなった」の合計が「変わらない」を上回る結果となっている。

【居住地別】

旧相良町の評価が厳しく、「やや悪くなった」「非常に悪くなった」は旧榛原町よりも高くなっている。

(問6で「1 大いに良くなった」「2 ある程度良くなった」
または「4 やや悪くなった」「5 非常に悪くなった」と答えた方にお聞きします。)
問7 「良くなったところ」または「悪くなったところ」について、ご自由にお書きください。

*** 良くなったところ (ほぼ原文どおり)**

- ・ 静岡空港が完成して、牧之原市が知名度アップ
- ・ 交通の便が良くなるように、道路整備が進んだ
- ・ 市役所の対応が良くなった。市長の市政に対する取り組みに熱意を感じる
- ・ 議員数削減等、無駄取りが少しは出来ている
- ・ 広域となって、人の交流が広がった
- ・ 情報公開しつつある感はある
- ・ ボランティアの人達の活動内容が広がってきた

*** 悪くなったところ (ほぼ原文どおり)**

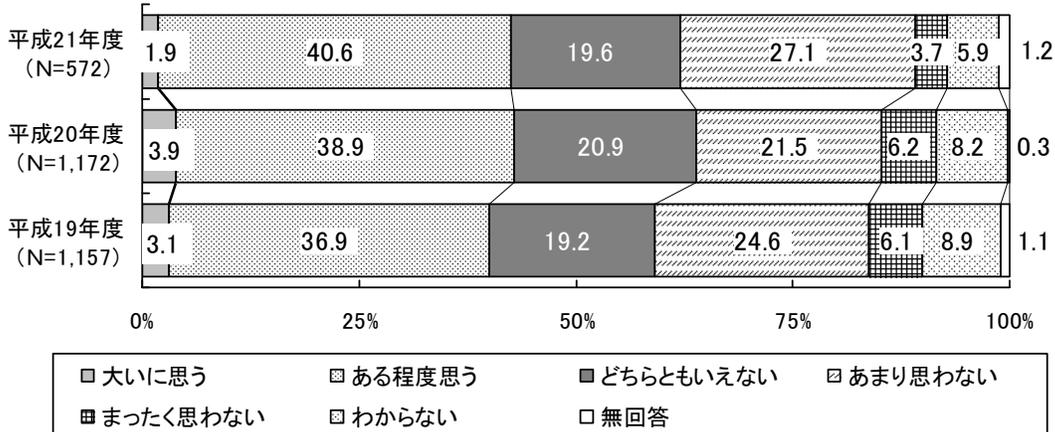
- ・ 榛原病院が遠い存在になってしまい、この先が非常に心細い
- ・ 空港の運営も、考えさせられる材料が山積みしている様子に心配してしまう
- ・ 合併のメリットが感じられない。範囲が広がっただけで、一つの市というまとまりが感じられない
- ・ 課が2つの庁舎に分かれたので、わざわざ遠くまで行かなければならないことがある
- ・ 市役所が遠くなった様な感じを受ける。合併前の地域エゴを強く感じる
- ・ 道路整備が不十分 (偏りが目立つ)
- ・ 税金が上がった。市の財政力がなくなった

合併後の市政に関して、良くなったところの代表的な意見は、静岡富士山空港によって知名度がアップしたことや、合併によって行政改革が進み、情報公開が進んだことや無駄が削減できたことなどが挙げられている。

一方、合併後の市政について悪くなったところの代表的な意見は、榛原病院の経営状況に関する意見がかなり多くみられる。その他、静岡富士山空港の運営や役所の存在が遠くなったなどの意見が挙げられている。

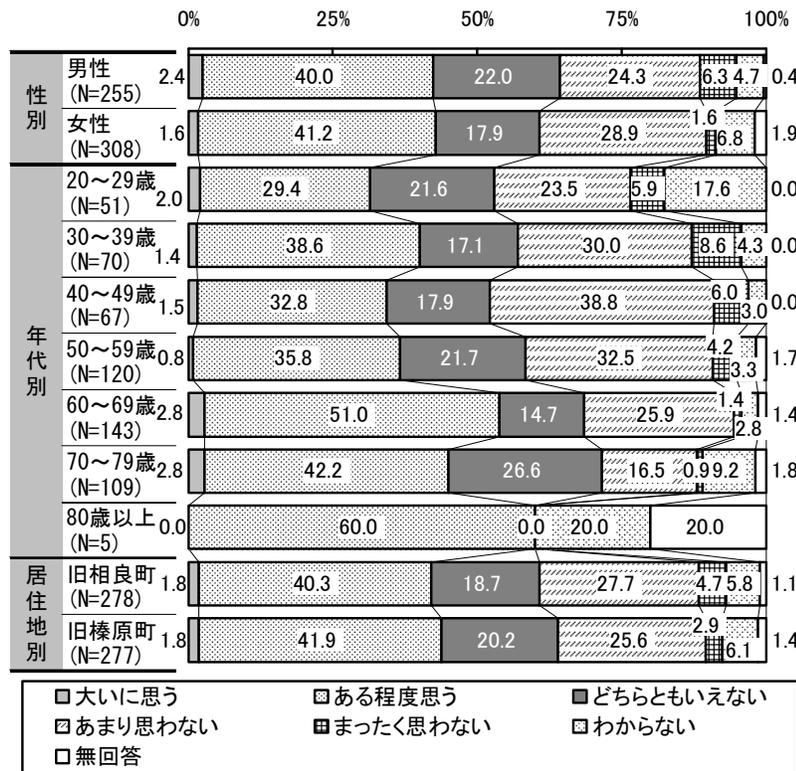
<市からの情報提供についてお聞きします>

問8 あなたは、市からいろいろな情報が発信されていると思いますか。
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市からの情報発信は、“情報発信されている”（「大いに思う」+「ある程度思う」の合計）が 42.5%と、昨年度の 42.8%とほぼ同じ結果となっている。一方、“情報発信されていない”（「あまり思わない」「まったく思わない」の合計）が 30.8%と、昨年度の 27.7%と比べると、3.1ポイント増加している。

クロス集計



【性別】

男女とも“情報発信されている”割合は、ほぼ同じである。

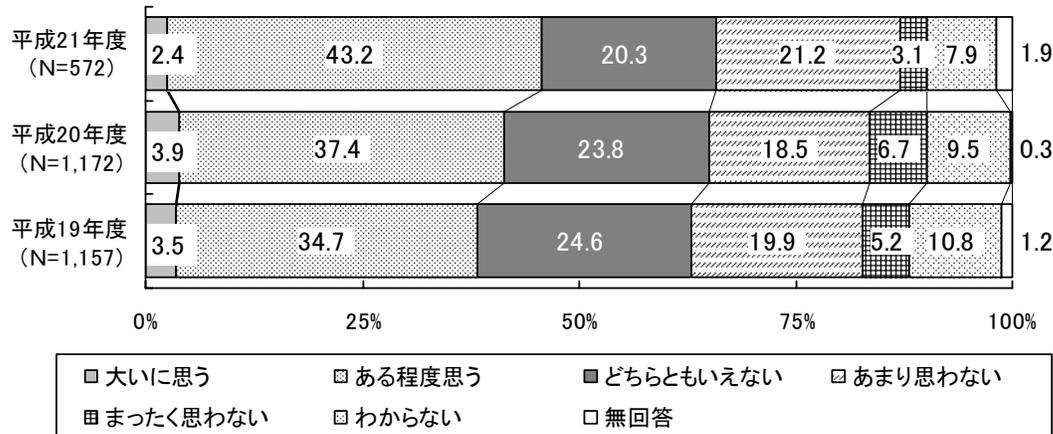
【年代別】

年代が高い方が“情報発信されている”割合が高い傾向がみられる。一方、40代では「あまり思わない」が 38.8%と最も多く、厳しい評価になっている。

【居住地別】

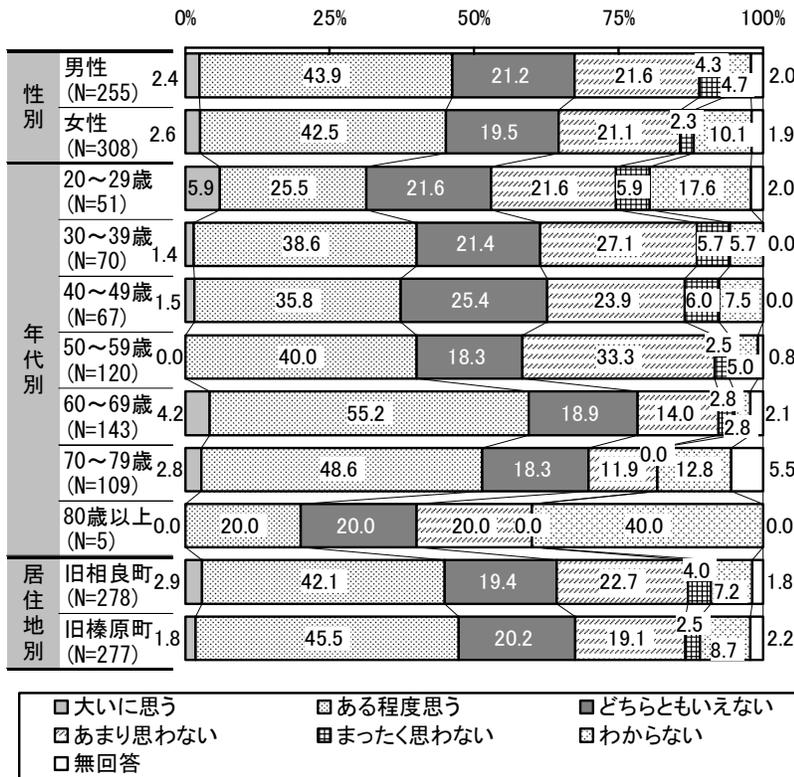
旧榛原町の方が旧相良町よりも“情報発信されている”割合がやや高くなっている。

問9 あなたは、市から発信している情報が役に立っていると思いますか。
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市から発信している情報については、“役に立っている”（「大いに思う」「ある程度思う」の合計）が45.6%と、昨年度と比べると、4.3ポイント増加しており、2年連続の増加傾向となっている。一方、“役に立っていない”（「あまり思わない」「まったく思わない」の合計）が24.3%と、約4人に1人の割合となっている。

クロス集計



【性別】

“役に立っている”はほぼ同じ割合となっているが、“役に立っていない”については、男性の方がやや多くなっている。

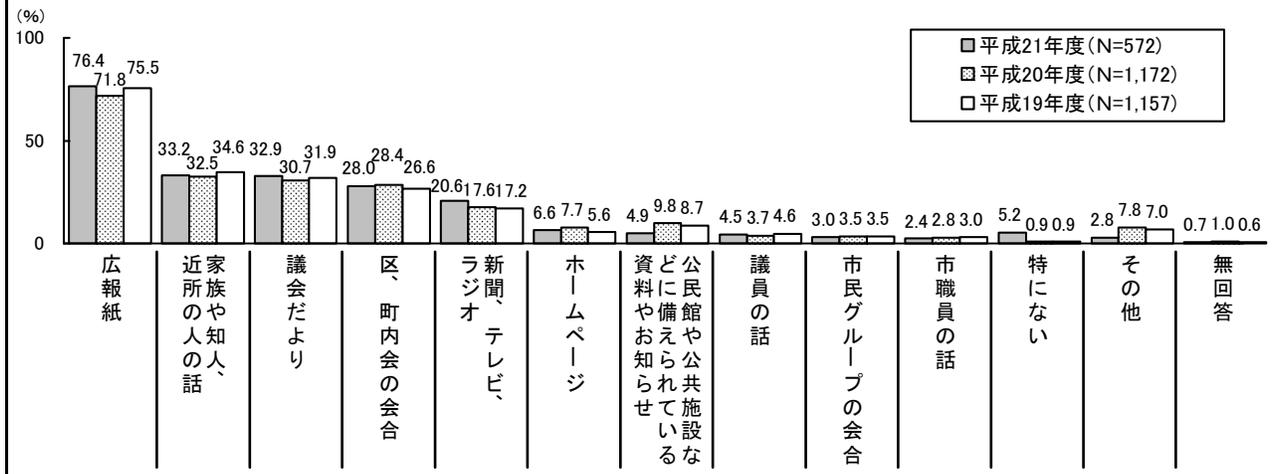
【年代別】

60～70代で“役に立っている”が過半数を超えている。

【居住地別】

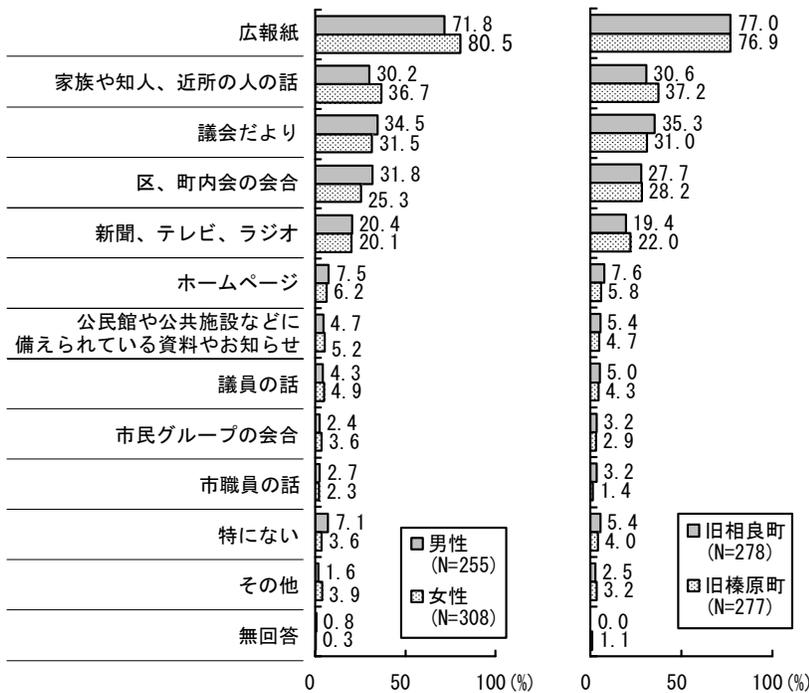
旧榛原町の方が旧相良町よりも“役に立っている”がやや多くなっている。

**問 10 あなたは市の取り組みや行事を何によって知ることが多いですか。
あてはまるもの全てに○印をつけてください。**



牧之原市の取り組みや行事などの情報の入手手段は、「広報紙」が76.4%と最も多く、次いで「家族や知人、近所の人の話」「議会だより」の順となっており、昨年度と同じ傾向となっており、いずれの項目も、昨年度より数ポイント増加している。

クロス集計

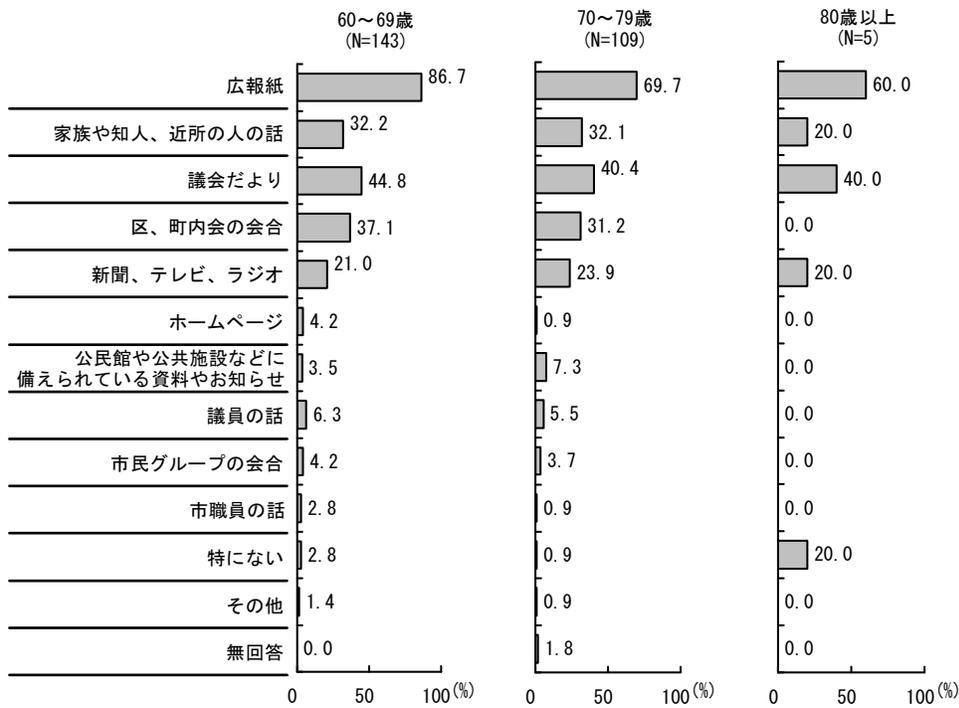
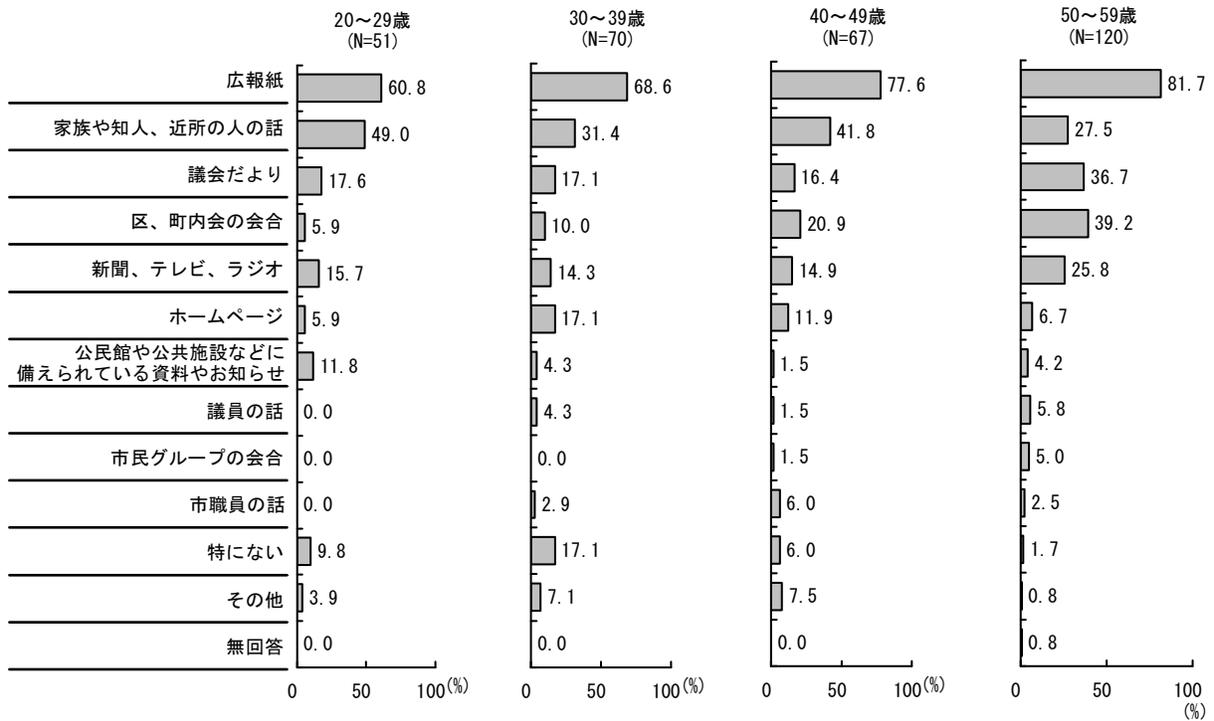


【性別】

男女とも「広報紙」が最も多く、特に女性は8割以上を占めている。男性では「議会だより」が、女性では「家族や知人、近所の話」が続いている。

【居住地別】

旧榛原町の方が旧相良町よりも「家族や知人、近所の人の話」を情報入手手段として捉えている割合が6.6ポイント高くなっているものの、他の手段については大きな差異みられない。



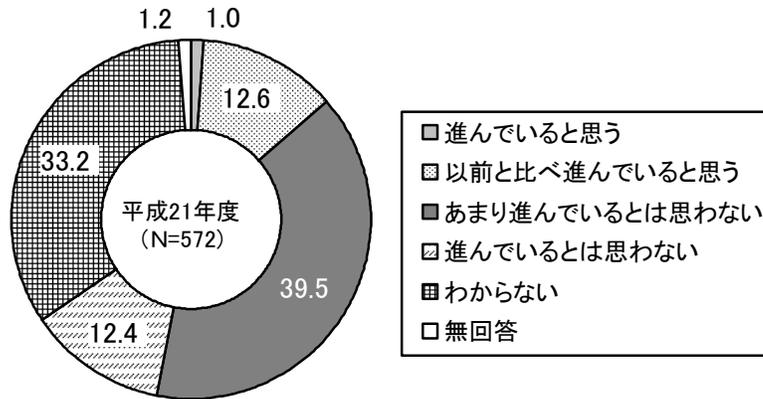
【年代別】

年代別にみると、いずれの年代層でも「広報紙」が6割以上を占めている。40代までと50代以上で、「家族や知人、近所の人のお話」と「議会だより」の割合が逆転しているのが、顕著に表れている。

＜牧之原市の協働の取り組みについて、お聞きします＞

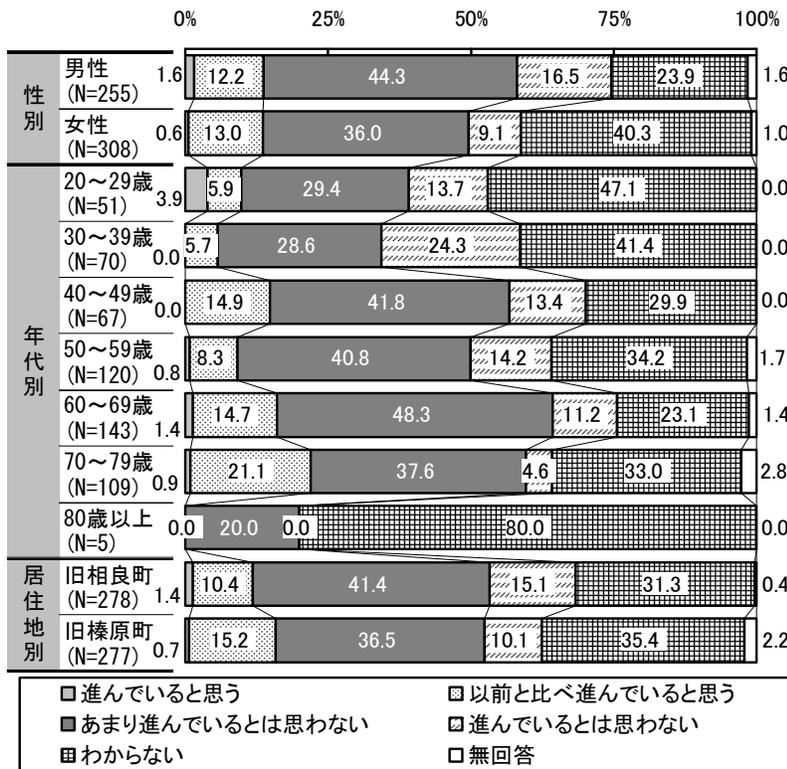
※協働とは、市民の皆さんと行政など、みんなで一緒になって、それぞれの役割の中で取り組むことです。

問 11 市の取り組みについて、行政と市民一緒での取り組みが進んでいると思いますか。



市の取り組みが行政と市民一緒に進んでいると思うかについて「あまり進んでいるとは思わない」が39.5%で最も多く、次いで「わからない」が33.2%となっており、この2項目で7割以上を占めている。一方、「進んでいると思う」は1.0%、「以前と比べ進んでいると思う」は12.6%となっている。

クロス集計



【性別】

女性よりも男性の方が評価は厳しく、「あまり進んでいるとは思わない」は8.3ポイント、「進んでいるとは思わない」は7.4ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。

【年代別】

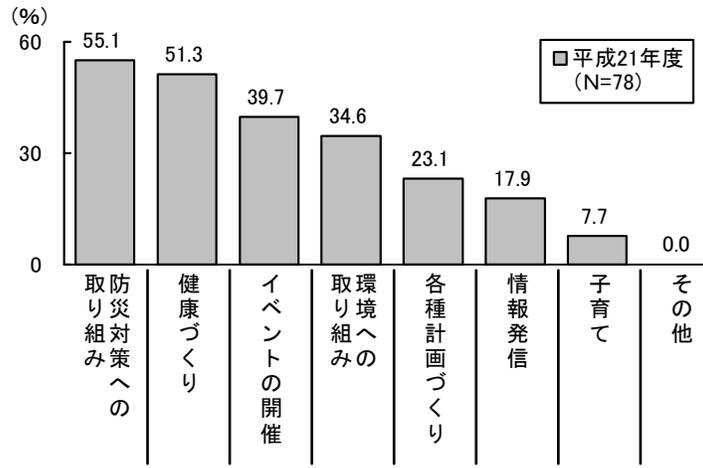
20～30代では「わからない」という回答が最も多く、市の取り組みに対しての関心が薄い傾向がみられる。

【居住地別】

旧相良町の方が「あまり進んでいるとは思わない」「進んでいるとは思わない」の合計が56.5%と、旧榛原町よりも約10ポイント近く高くなっている。

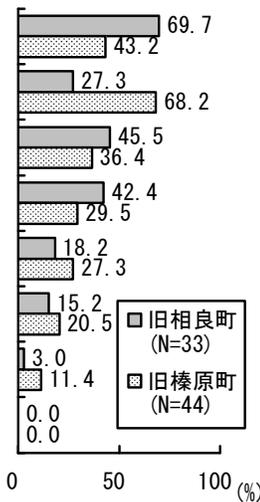
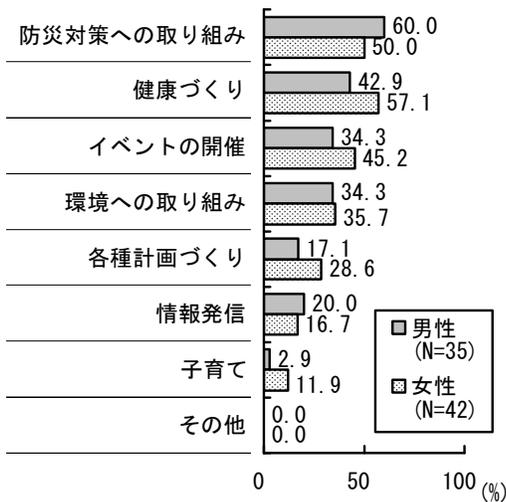
(問 11で「1 進んでいると思う」と「2. 以前と比べ進んでいると思う」お答えたした方にお聞きます。)

問 12 行政と市民一緒に取り組みが進んでいると思う分野は次のうちのどの分野だと思いますか。
あてはまるもの全てに○印をつけてください。



問 11 で行政と市民一緒に取り組みが進んでいると回答した 78 人の進んでいると思う分野は、「防災対策への取り組み」が 55.1%で最も多く、次いで「健康づくり」が 51.3%の順となっており、この 2 項目は過半数を占めている。一方、最も低いのは「子育て」の 7.7%で、1 割を下回る結果となっている。

クロス集計

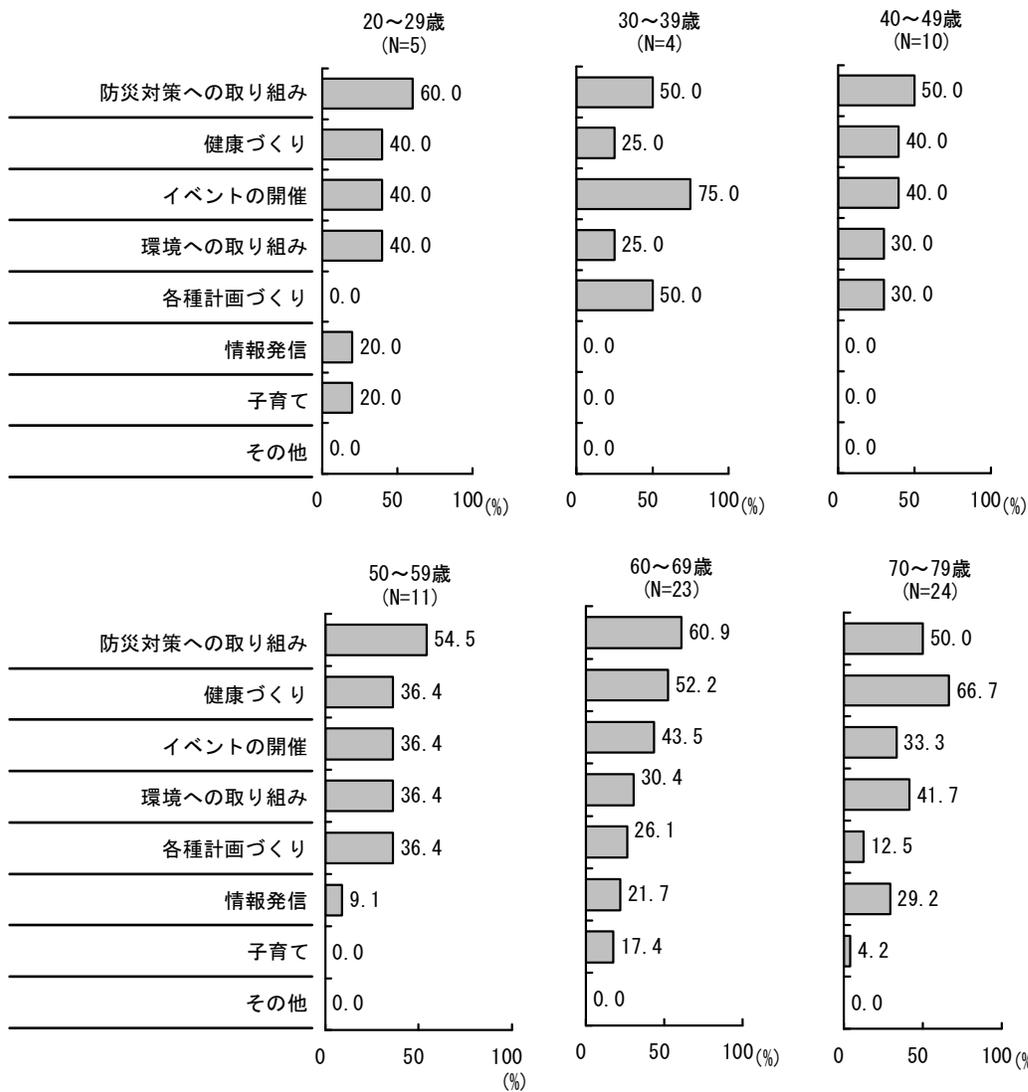


【性別】

男女で順位が異なっており、男性では「防災対策への取り組み」が、女性では「健康づくり」が、それぞれ 6 割程度で最も多くなっている。

【居住地別】

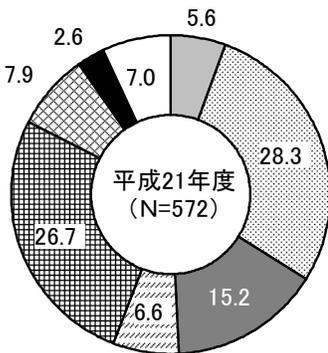
旧相良町と旧榛原町で順位が異なり、旧相良町では「防災対策への取り組み」が、旧榛原町では「健康づくり」が、それぞれ 7 割程度で最も多くなっている。



【年代別】

20代、30代は回答者数が少ないものの、「防災対策への取り組み」は、いずれの年代においても半数以上を占めている。また、「健康づくり」は、50代以下では半数を下回っているが、60代では52.2%と過半数を占め、70代では66.7%と、約7割となっている。

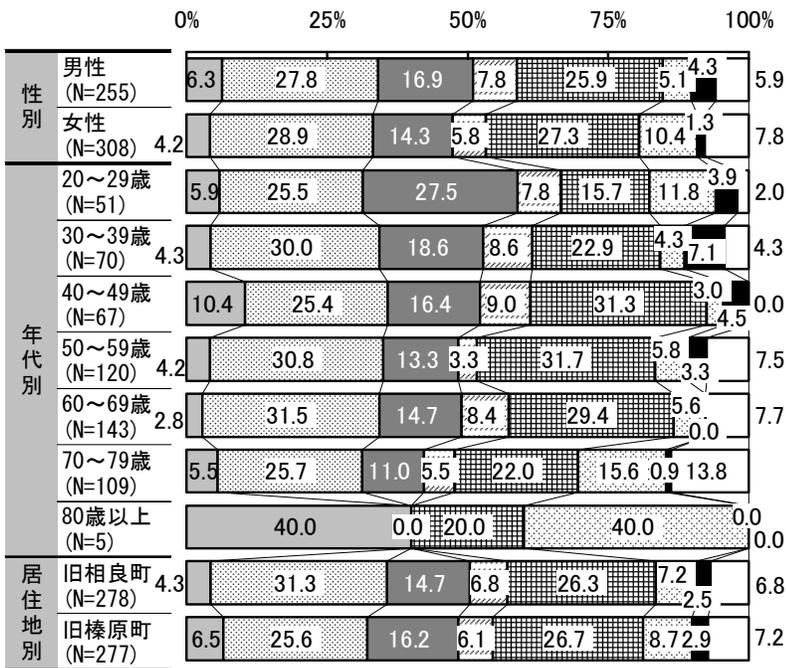
問13 財政状況が大変厳しい状況の中、行政サービスなどについてどう考えますか。
 次の1～5のうち該当する項目に○を1つ付けてください。



- 行政サービスの低下が生じてもやむを得ない
- ▨ 市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減
- 一部のサービスは向上させるなど、メリハリをつけた取り組み
- ▤ 財源の確保に取り組むことが必要
- ▦ 現状を市民に知らせることが必要
- わからない
- その他
- 無回答

行政サービスなどについての考えは、「市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減」が28.3%で最も多く、次いで僅差で「現状を市民に知らせることが必要」が26.7%の順となっており、この2項目で過半数を占めている。

クロス集計



- 行政サービスの低下が生じてもやむを得ない
- ▨ 市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減
- 一部のサービスは向上させるなど、メリハリをつけた取り組み
- ▤ 財源の確保に取り組むことが必要
- ▦ 現状を市民に知らせることが必要
- わからない
- その他
- 無回答

【性別】

男女とも「市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減」が最も多く、次いで「現状を市民に知らせることが必要」の順となっている。

【年代別】

各年代において最も多い項目が異なっており、20代では「一部のサービスは向上させるなど、メリハリをつけた取り組み」が、30代、60～70代では「市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減」が、40～50代では「現状を市民に知らせることが必要」が、最も多くなっている。

【居住地域別】

旧相良町では、「市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減」が旧榛原町より 5.7 ポイント高くなっている。

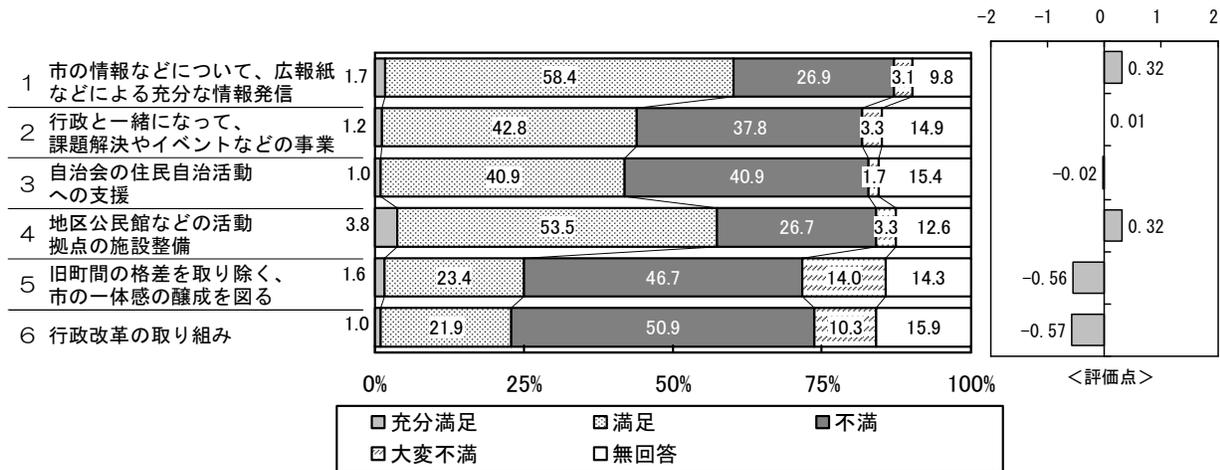
**問 14 あなたは、次の取り組みについて満足していますか。また、その取り組みが重要であると考
えますか。該当する欄に○印をおつけください。(満足度・重要度の両方に○印記入)**

【 評価点の算出方法 】

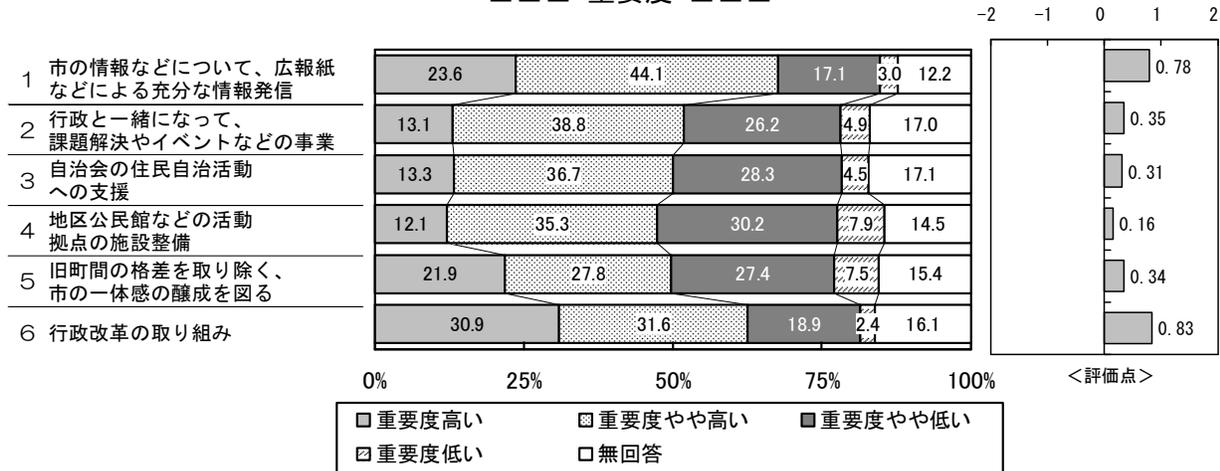
「充分満足」「重要度高い」と回答した人を+2点、「満足」「重要度やや高い」は+1点、「不満」「重要
度やや低い」は-1点、「大変不満」「重要度低い」を-2点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者
数を掛け、それらを合計した数字を回答者数(「無回答」は回答者数に含めない)で割り、算出している。
評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。

《 自治体体質の強化 》

■■■ 満足度 ■■■



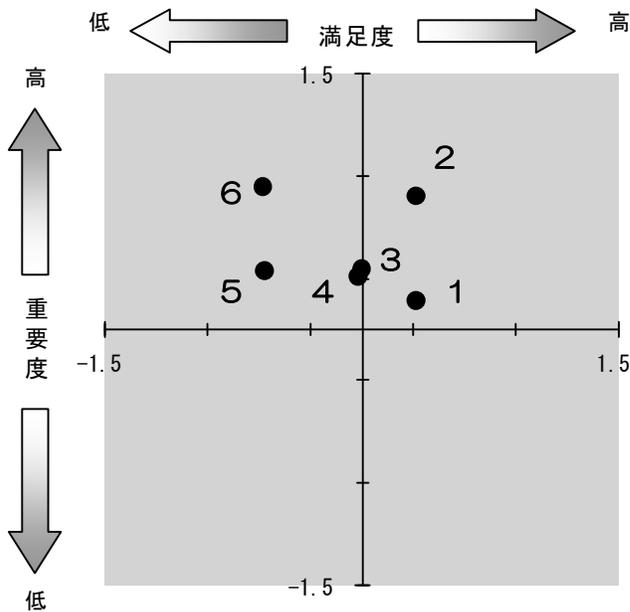
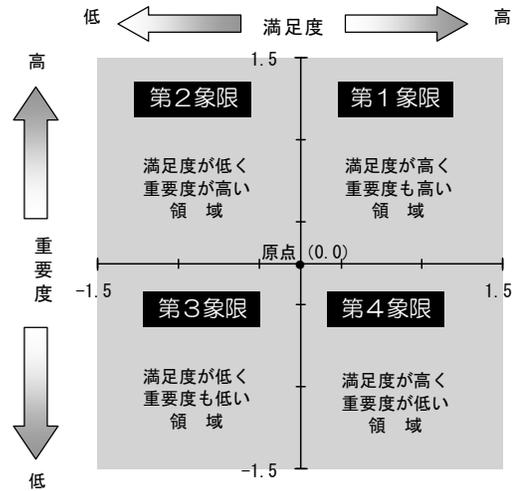
■■■ 重要度 ■■■



自治体体質の強化に関する取り組みで満足度が高いのは“4 地区公民館などの活動拠点の施設整備”と“1 市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信”の2項目で、評価点がそれぞれ 0.32 点となっている。一方、“5 旧町間の格差を取り除く、市の一体感の醸成を図る”と“6 行政改革の取り組み”では「不満」が半数前後を占めており、評価点も -0.56 点、-0.57 点と低くなっている。

重要度が最も高いのは“6 行政改革の取り組み”で、「重要度高い」が30.9%と、この分野の取り組みの中で唯一3割を超えている。評価点でみると、“6 行政改革の取り組み”が0.83点で最も高く、次いで“1 市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信”が0.78点となっており、この2項目において0.5点を超えている。

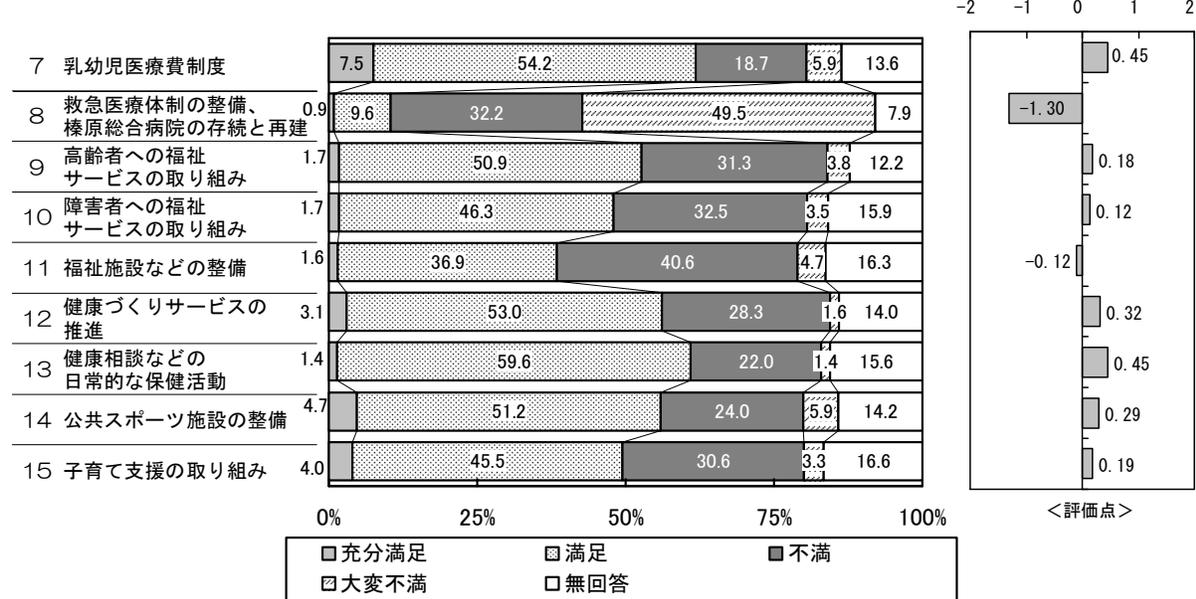
		満足度	重要度
1	市の情報などについて、 広報紙などによる十分な情報発信	0.32	0.78
2	行政と一緒にあって、 課題解決やイベントなどの事業	0.01	0.35
3	自治会の住民自治活動への支援	-0.02	0.31
4	地区公民館などの 活動拠点の施設整備	0.32	0.16
5	旧町間の格差を取り除く、 市の一体感の醸成を図る	-0.56	0.34
6	行政改革の取り組み	-0.57	0.83



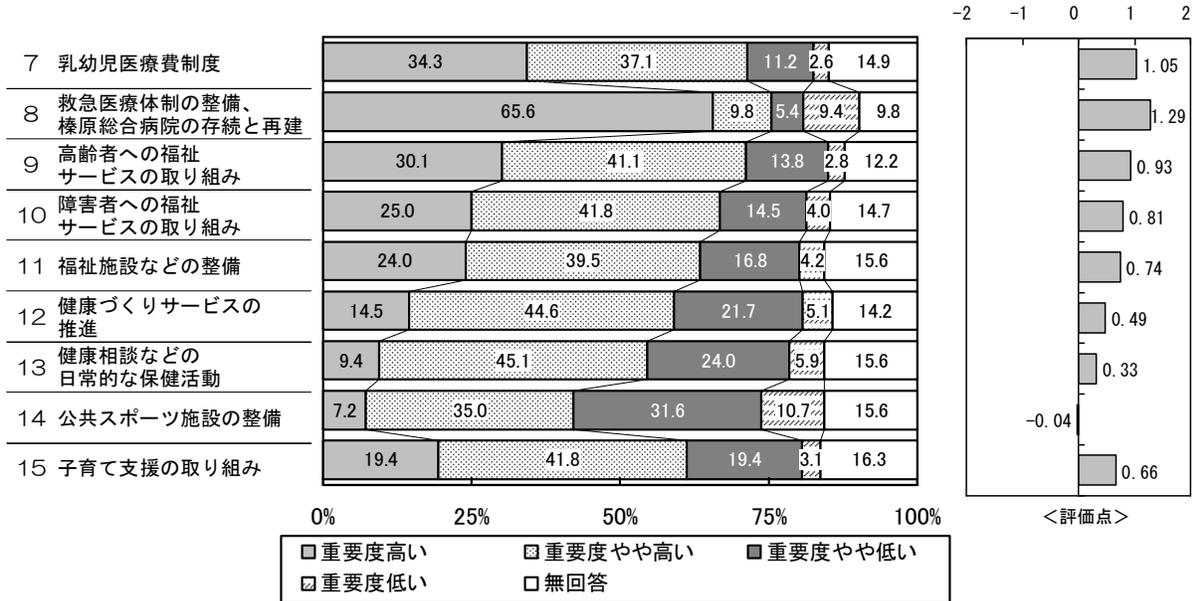
各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図（散布図中の番号は、各取り組みの通し番号で上記表を参照）にすると、重要度でマイナス評価の取り組みはみられず、すべて第1象限と第2象限に含まれている。その中で“6 行政改革の取り組み”が原点から最も離れており、満足度が低く、重要度が高いところに位置している。

《 健康福祉 》

■■■ 満足度 ■■■



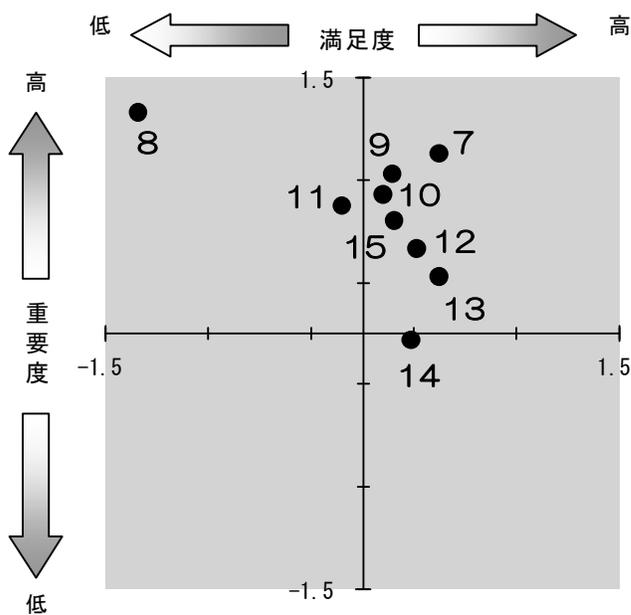
■■■ 重要度 ■■■



健康福祉に関する取り組みで満足度が高いのは“13 健康相談などの日常的な保健活動”と“7 乳幼児医療費制度”の2項目で、評価点は2項目とも0.45点となっている。一方、“8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建”では、「不満」が8割近くを占めており、評価点も-1.03点と、取り組み50項目の中で最も低い評価点となっている。

重要度が最も高いのは、“8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建”で、「重要度高い」が65.6%と、取り組み50項目の中では唯一6割以上となっている。評価点をみると、“8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建”が1.29点と高く、次いで“7 乳幼児医療費制度”が1.05点となっており、この2項目において1.0点以上となっている。

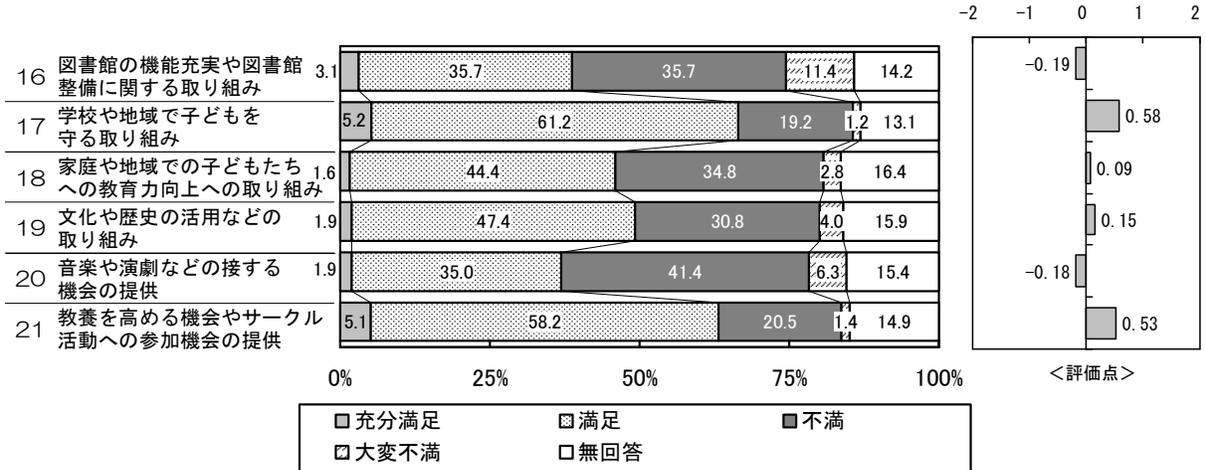
《健康福祉》		満足度	重要度
7	乳幼児医療費制度	0.45	1.05
8	救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建	-1.30	1.29
9	高齢者への福祉サービスの取り組み	0.18	0.93
10	障害者への福祉サービスの取り組み	0.12	0.81
11	福祉施設などの整備	-0.12	0.74
12	健康づくりサービスの推進	0.32	0.49
13	健康相談などの日常的な保健活動	0.45	0.33
14	公共スポーツ施設の整備	0.29	-0.04
15	子育て支援の取り組み	0.19	0.66



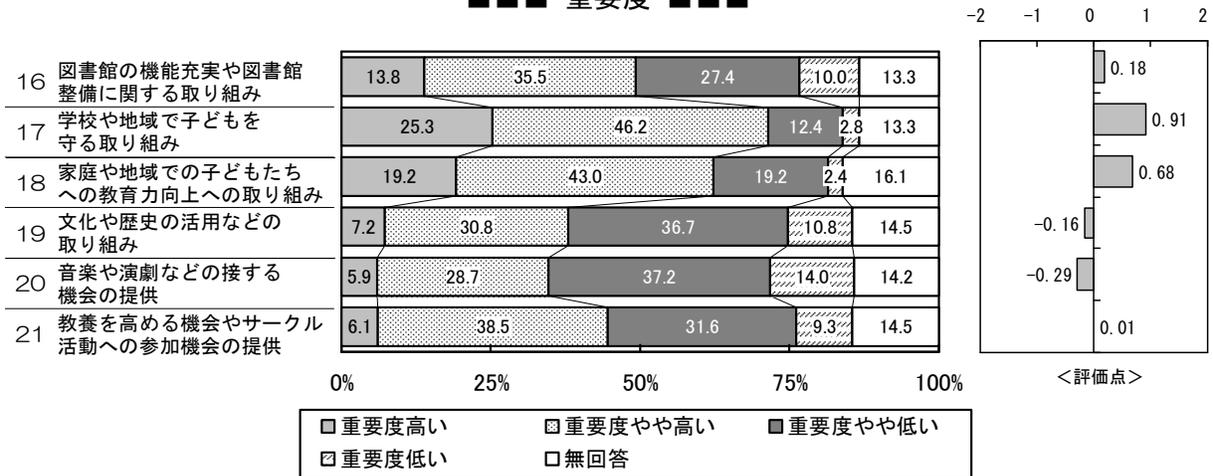
散布図でみると、“8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建”が、第2象限の左端に位置しており、特に満足度が低く、重要度が高くなっていることが一目瞭然となっている。

《 生涯学習 》

■■■ 満足度 ■■■



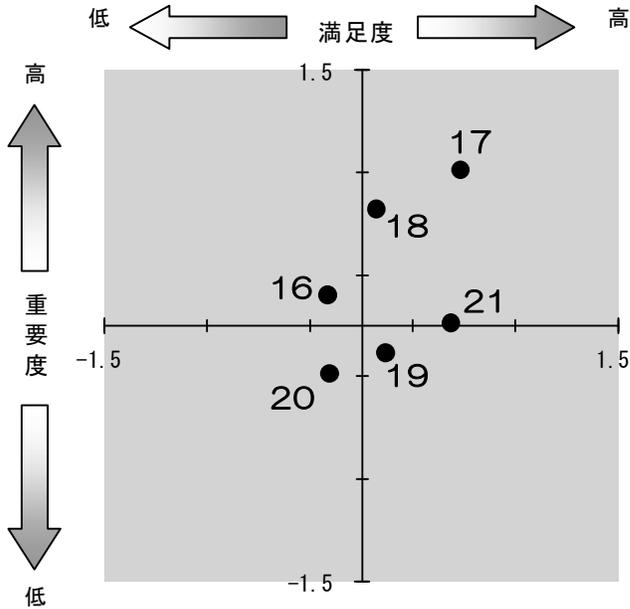
■■■ 重要度 ■■■



生涯学習に関する取り組みで満足度が高いのは“17 学校や地域で子どもを守る取り組み”と“21 教養を高める機会やサークル活動への参加機会の提供”の2項目で「満足」が約6割を占めており、評価点はそれぞれ0.58点、0.53点となっている。一方、“16 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み”と“20 音楽や演劇などの接する機会の提供”では「不満」が半数前後を占めており、評価点も-0.19点、-0.18点とマイナス評価となっている。

重要度が最も高いのは、“17 学校や地域で子どもを守る取り組み”で「重要度高い」が25.3%と、この分野の取り組みの中では唯一2割を超えている。評価点をみると、“17 学校や地域で子どもを守る取り組み”が0.91点と最も高く、次いで“18 家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み”が0.68点となっており、この2項目において、0.5点を超えている。

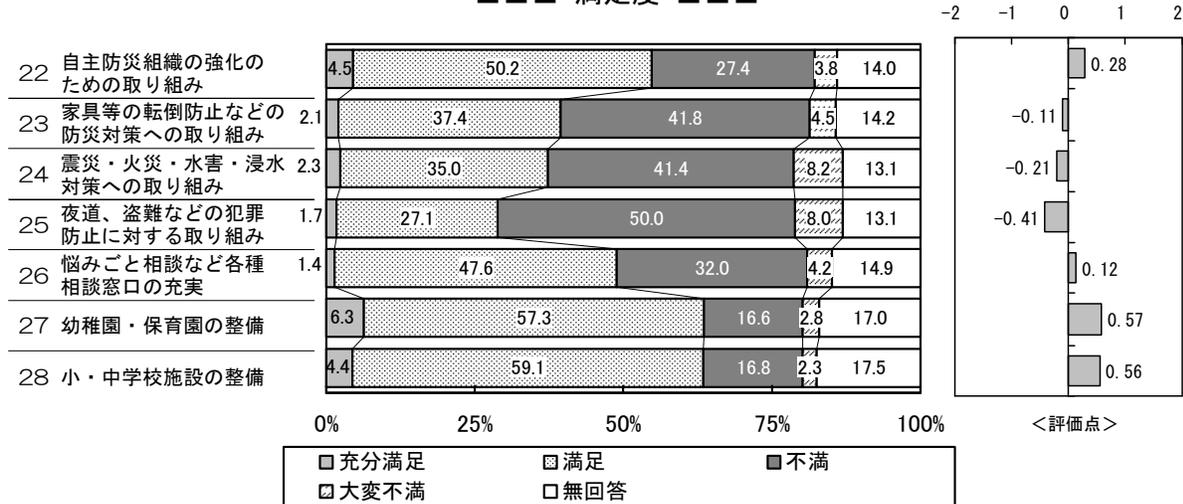
《生涯学習》		満足度	重要度
16	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.19	0.18
17	学校や地域で子どもを守る取り組み	0.58	0.91
18	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み	0.09	0.68
19	文化や歴史の活用などの取り組み	0.15	-0.16
20	音楽や演劇などの接する機会の提供	-0.18	-0.29
21	教養を高める機会やサークル活動への参加機会の提供	0.53	0.01



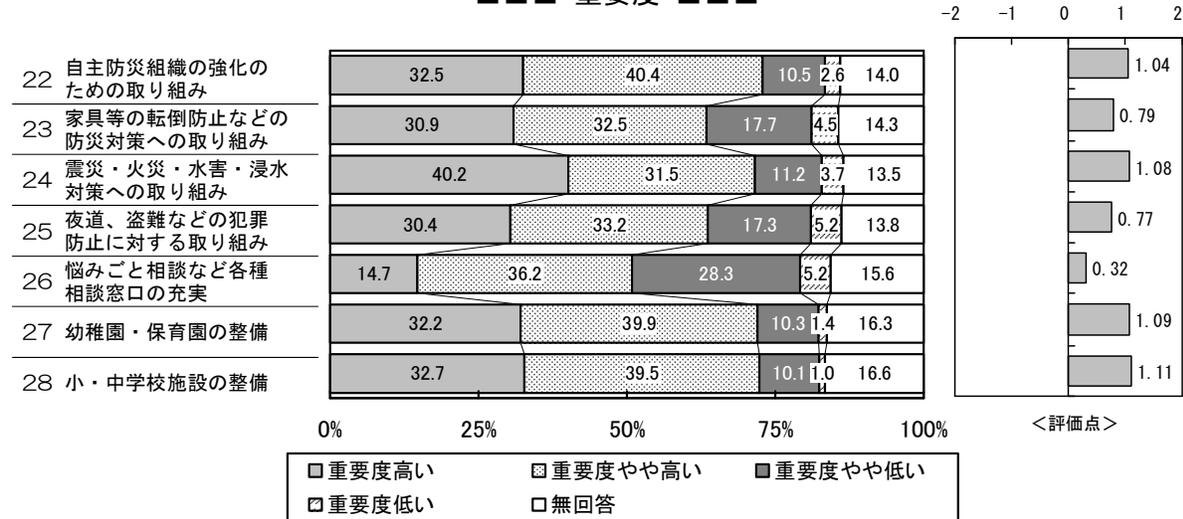
散布図をみると、この分野の取り組みは第1象限～第4象限のすべての象限に散布されている。その中で、“16 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み”は重要度がプラスで、満足度がマイナスの第2象限に位置している。ただ、原点からの距離はさほど離れていない。

《 安全安心社会 》

■■■ 満足度 ■■■



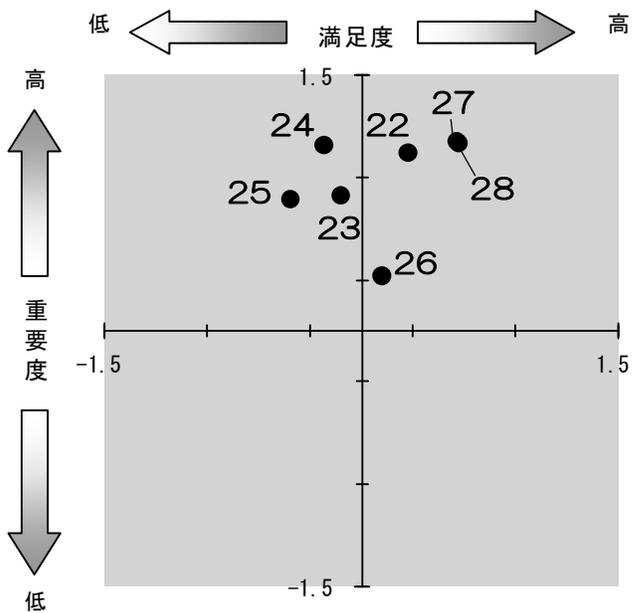
■■■ 重要度 ■■■



安心安全社会に関する取り組みで満足度が高いのは“27 幼稚園・保育園の整備”と“28 小・中学校施設の整備”の2項目で、約6割が「満足」と回答しており、評価点もそれぞれ 0.57 点、0.56 点とプラス評価となっている。一方、“25 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み”と“24 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み”と“23 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み”では「不満」が半数以上を占めており、評価点も-0.41 点、-0.21 点、-0.11 点と低くなっている。

重要度が最も高いのは“24 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み”で「重要度高い」が 40.2% と、この分野の取り組みの中では唯一4割を超えている。評価点をみると、“28 小・中学校施設の整備”が 1.11 点と高く、次いで“27 幼稚園・保育園の整備”が 1.09 点となっており、それほど大きな差はみられない。

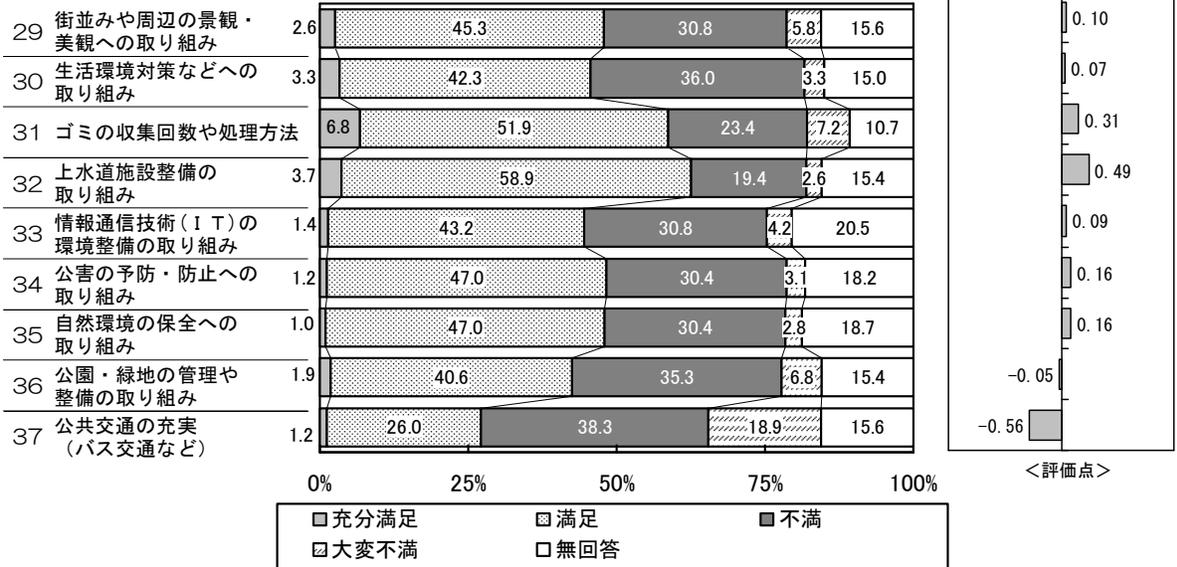
《安全安心社会》		満足度	重要度
22	自主防災組織の強化のための取り組み	0.28	1.04
23	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.11	0.79
24	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.21	1.08
25	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.41	0.77
26	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.12	0.32
27	幼稚園・保育園の整備	0.57	1.09
28	小・中学校施設の整備	0.56	1.11



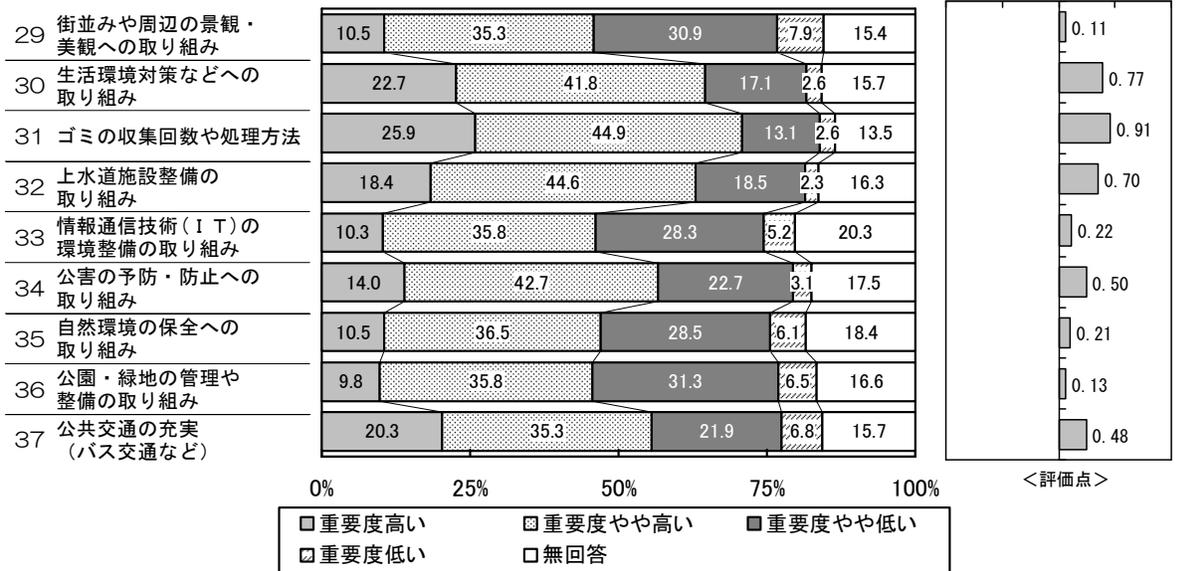
散布図をみると、この分野の取り組みはすべて第1象限と第2象限に位置しており、重要度がマイナスの取り組みはみられず、他の分野に比べて重要度の高い取り組みが多くなっている。その中で満足度の評価点が最も低いのは、“25 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み”で、次いで“24 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み”の順となっている。

《 生活環境 》

■■■■ 満足度 ■■■■



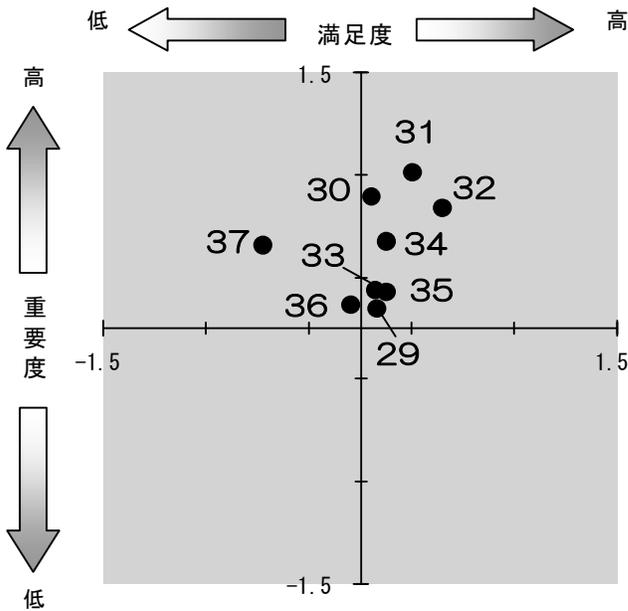
■■■■ 重要度 ■■■■



生活環境に関する取り組みで満足度が高いのは“32 上水道施設整備の取り組み”と“31 ごみの収集回数や処理方法”の2項目で、評価点がそれぞれ0.49点、0.31点となっている。一方、“37 公共交通の充実（バス交通など）”と“36 公園・緑地の管理や整備の取り組み”では「不満」が半数前後を占めており、評価点も-0.56点、-0.05点とマイナス値となっている。

重要度が最も高いのは“31 ゴミの収集回数や処理方法”で、「重要度高い」が25.9%、「重要度や高い」が44.9%と、合わせると7割近くを占めている。評価点をみると、“31 ゴミの収集回数や処理方法”が0.91点と最も高く、次いで“30 生活環境対策などへの取り組み”が0.77点、“32 上水道施設整備の取り組み”が0.70点となっており、この3項目において0.7点を超えている。

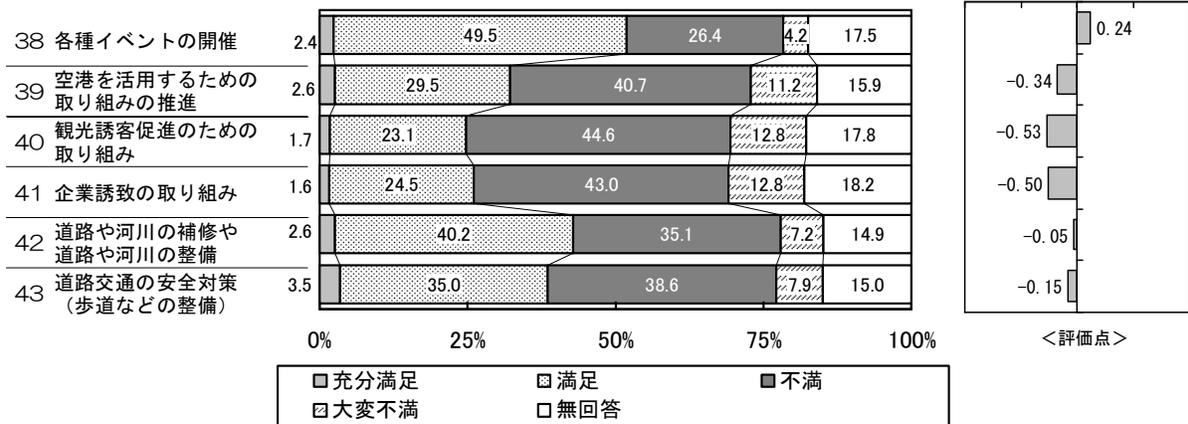
《生活環境》		満足度	重要度
29	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	0.10	0.11
30	生活環境対策などへの取り組み	0.07	0.77
31	ゴミの収集回数や処理方法	0.31	0.91
32	上水道施設整備の取り組み	0.49	0.70
33	情報通信技術(I T)の環境整備の取り組み	0.09	0.22
34	公害の予防・防止への取り組み	0.16	0.50
35	自然環境の保全への取り組み	0.16	0.21
36	公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.05	0.13
37	公共交通の充実(バス交通など)	-0.56	0.48



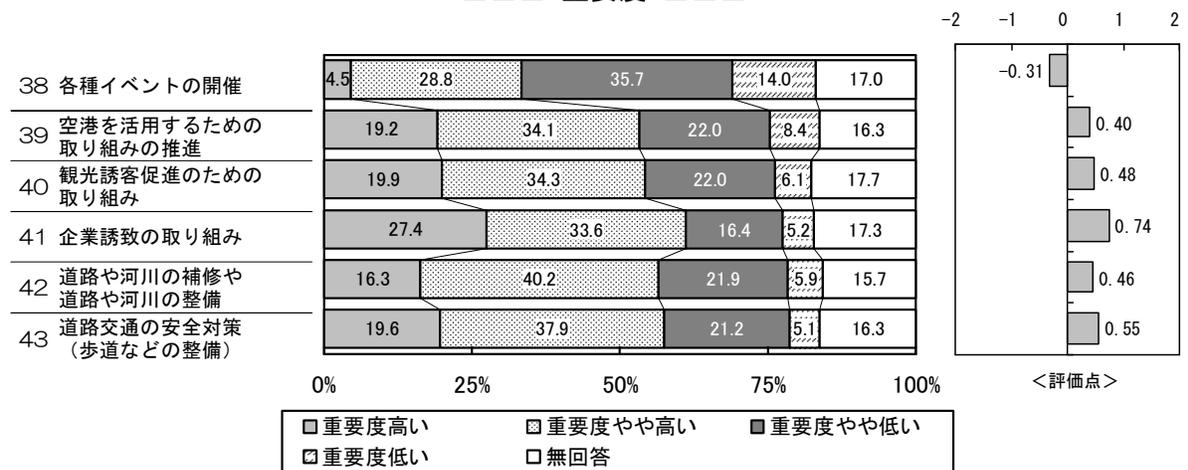
散布図をみると、この分野の取り組みもすべて第1象限と第2象限に位置しており、重要度がマイナスの取り組みはみられないが、《安心安全社会》に比べて、満足度がプラスの取り組みが多くなっている。その中で“37 公共交通の充実(バス交通など)”の満足度が比較的マイナスの値が大きく、原点から離れた位置に散布している。

《 まちの活性化 》

■■■■ 満足度 ■■■■



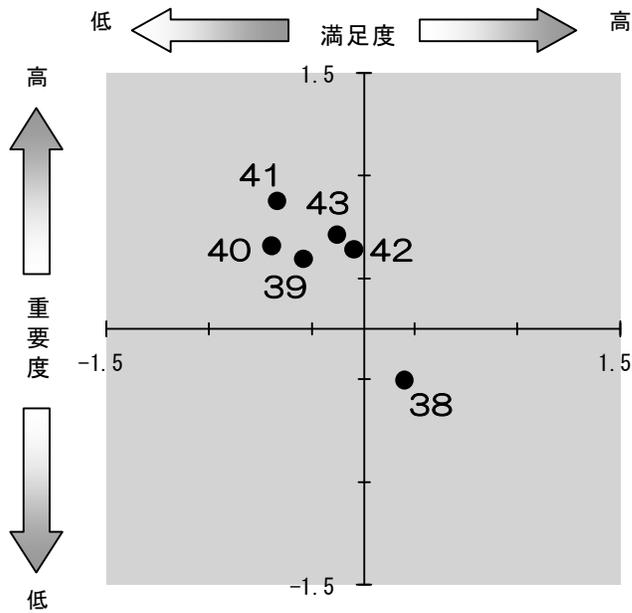
■■■■ 重要度 ■■■■



まちの活性化に関する取り組みで満足度が高いのは“38 各種イベントの開催”で、「満足」が49.5%と、ほぼ半数を占め、この分野での評価点が唯一プラス値となっている。一方、“40 観光誘客促進のための取り組み”と“41 企業誘致の取り組み”では「大変不満」と「不満」を合わせた『不満』が半数以上を占めており、評価点も-0.53点、-0.50点と低くなっている。

重要度が最も高いのは“41 企業誘致の取り組み”で、「重要度高い」が27.4%と、3割近くとなっている。評価点をみると、“41 企業誘致の取り組み”が0.74点と最も高く、次いで“43 道路交通の安全対策(歩道の整備など)”が0.55点となっており、この2項目において0.5点を超えている。

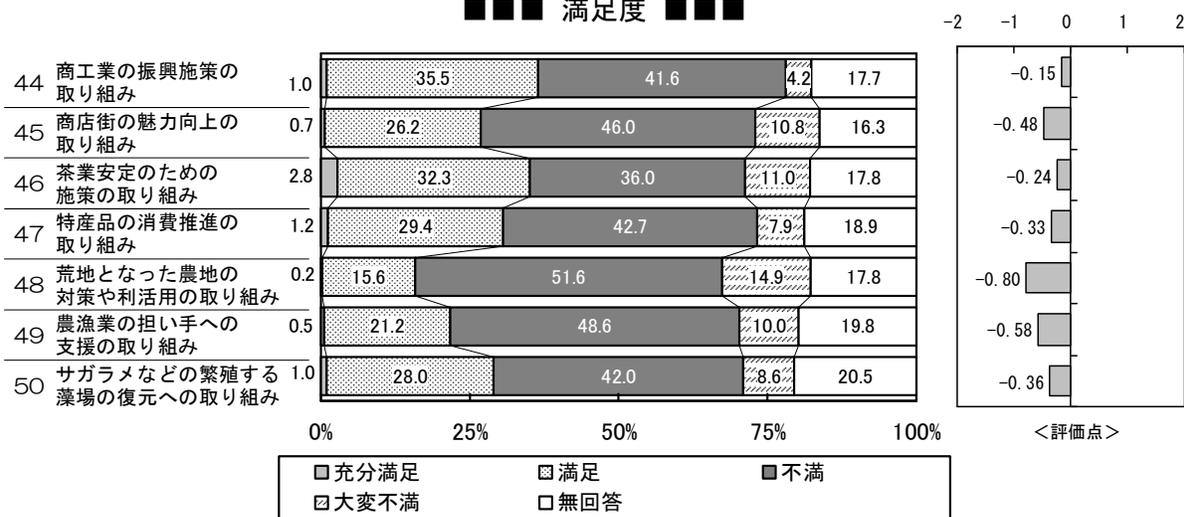
《まちの活性化》		満足度	重要度
38	各種イベントの開催	0.24	-0.31
39	空港を活用するための取り組みの推進	-0.34	0.40
40	観光誘客促進のための取り組み	-0.53	0.48
41	企業誘致の取り組み	-0.50	0.74
42	道路や河川の補修や道路や河川の整備	-0.05	0.46
43	道路交通の安全対策（歩道などの整備）	-0.15	0.55



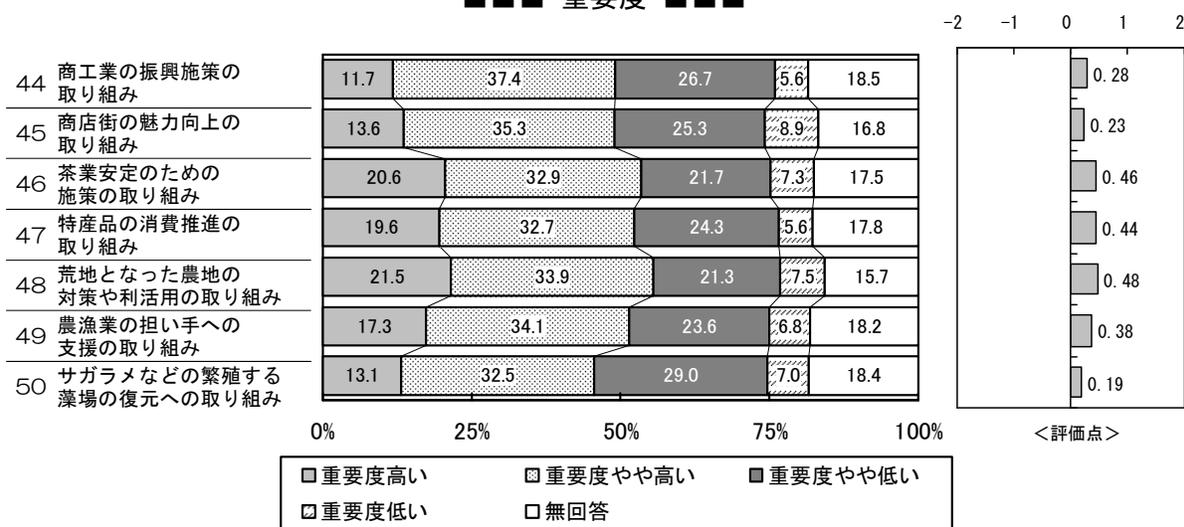
散布図をみると、“38 各種イベントの開催”を除いて、すべて第2象限に固まって散布している。その中には“41 企業誘致の取り組み”が、最も重要度が高く、満足度が低くなっており、原点から最も離れた位置に散布している。

《 地場産業等の活性化 》

■■■ 満足度 ■■■



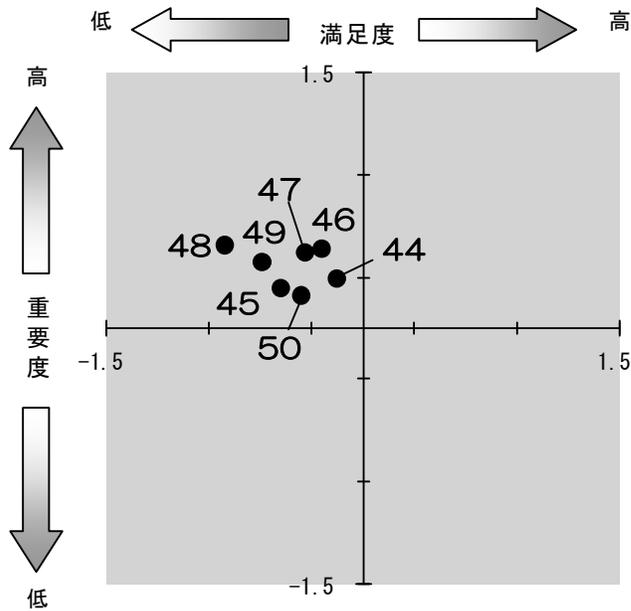
■■■ 重要度 ■■■



地場産業等の活性化に関しては、すべての取組みで「不満」が最も多くなっており、評価点は全取組みでマイナス値となっている。特に“48 荒地となった農地の対策や利活用の取組み”では「不満」が半数以上を占めており、評価点も-0.80点とかなり低くなっている。

一方、重要度に関して、すべての取組みで「重要度やや高い」が最も多くなっており、評価点は全取組みでプラス値となっている。特に、“48 荒地となった農地の対策や利活用の取組み”が0.48点、“46 茶業安定のための施策の取組み”が0.46点、“47 特産品消費推進の取組み”が0.44点と、この3項目で評価点が拮抗している。

《地場産業等の活性化》		満足度	重要度
44	商工業の振興施策の取り組み	-0.15	0.28
45	商店街の魅力向上の取り組み	-0.48	0.23
46	茶業安定のための施策の取り組み	-0.24	0.46
47	特産品の消費推進の取り組み	-0.33	0.44
48	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-0.80	0.48
49	農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.58	0.38
50	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.36	0.19

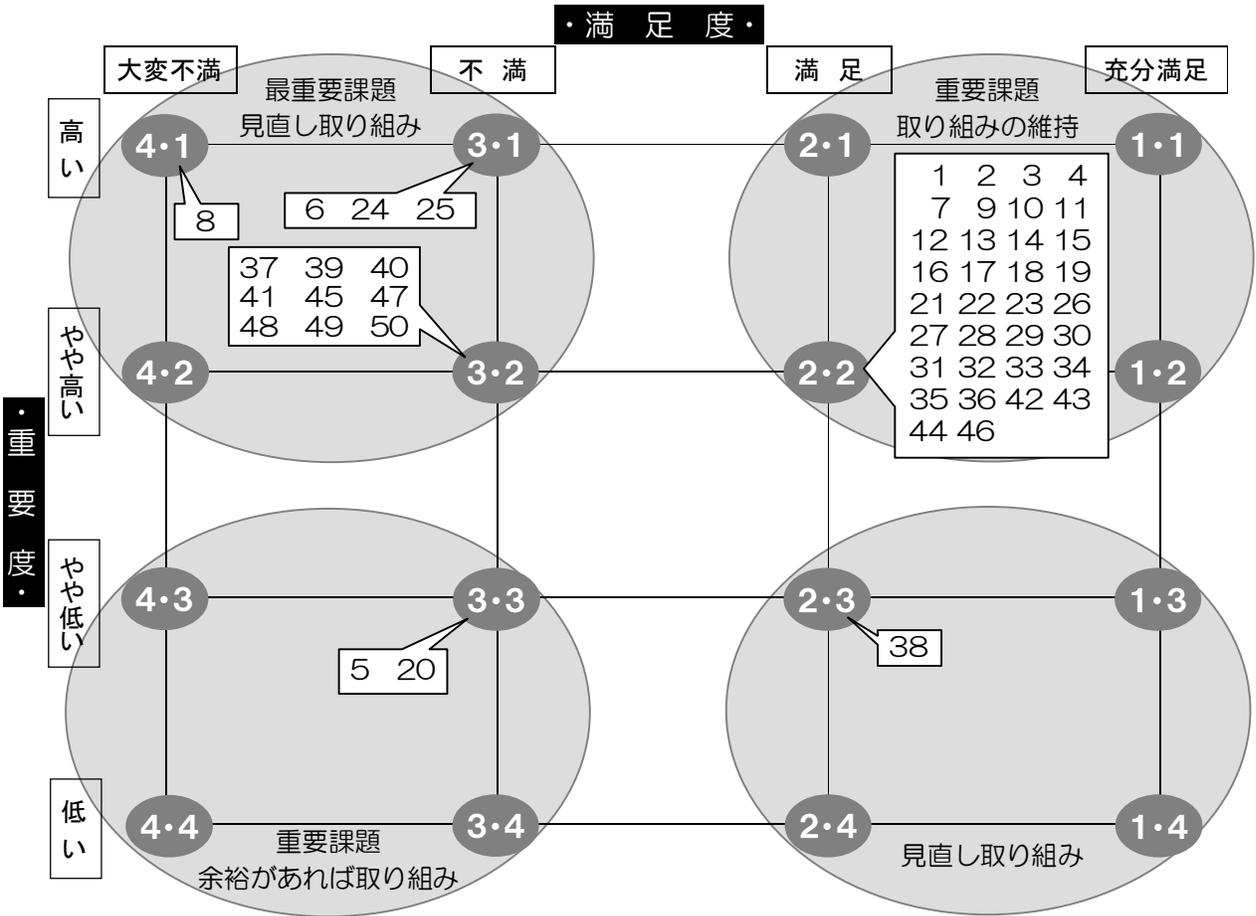


散布図をみると、この分野の全取り組みは第2象限に位置しており、比較的まとまった状態で散布している。その中で、最も原点から離れているのは、“48 荒地となった農地の対策や利活用の取り組み”となっている。

問 14 に掲げている全取り組み 50 項目について、各項目において満足度と重要度の組み合わせを集計して、最も割合の多い組み合わせを図示すると、下図のとおりとなる。

50 項目中 34 項目が「2 (満足)・2 (重要度やや高い)」組み合わせに集中している。

また、最重要課題の取り組みには“8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建”が挙げられる。



		重要度 充分満足 高い	重要度 充分満足 やや高い	重要度 充分満足 やや低い	重要度 充分満足 低い	満足 重要度 高い	満足 重要度 やや高い	満足 重要度 やや低い	満足 重要度 低い	不満 重要度 高い	不満 重要度 やや高い	不満 重要度 やや低い	不満 重要度 低い	大変不満 重要度 高い	大変不満 重要度 やや高い	大変不満 重要度 やや低い	大変不満 重要度 低い	無回答
(N=572) 単位: %		1・1	1・2	1・3	1・4	2・1	2・2	2・3	2・4	3・1	3・2	3・3	3・4	4・1	4・2	4・3	4・4	
自治体 体質の 強化	1 市の情報などについて、広報紙などによる十分な情報発信	1.0	0.2	0.3	0.0	14.0	33.2	6.1	1.6	7.0	9.1	9.3	1.2	1.4	0.7	0.5	0.2	14.2
	2 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業	0.5	0.0	0.3	0.2	4.9	25.0	9.4	0.7	6.5	12.4	15.2	0.0	0.9	0.3	0.5	1.4	21.7
	3 自治会の住民自治活動への支援	0.5	0.0	0.2	0.2	4.2	22.6	10.3	1.9	7.2	13.5	16.8	1.9	0.9	0.0	0.3	0.3	19.2
	4 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1.7	0.5	1.0	0.3	5.1	25.2	16.4	4.0	3.8	8.7	11.4	2.1	1.4	0.3	0.5	0.7	16.6
	5 旧時間の格差を取り除く、市の一体感の醸成を図る	0.7	0.3	0.2	0.2	3.0	10.0	7.2	2.1	9.8	14.7	18.0	2.6	8.0	2.1	1.0	1.9	18.2
	6 行政改革の取り組み	0.5	0.3	0.0	0.0	5.1	12.1	3.7	0.2	17.7	16.8	14.3	0.9	6.8	1.7	0.5	0.9	18.5
健康 福祉	7 乳幼児医療費制度	5.8	1.4	0.0	0.2	17.0	28.8	5.9	0.7	6.8	5.6	4.4	1.0	3.8	0.3	0.7	0.7	16.8
	8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建	0.9	0.0	0.0	0.0	3.8	4.2	0.5	0.0	21.5	3.5	4.0	1.7	38.1	1.9	0.9	7.5	11.4
	9 高齢者への福祉サービスの取り組み	1.2	0.2	0.0	0.3	14.2	29.5	5.2	0.2	11.0	10.3	7.5	1.4	2.3	0.2	0.2	0.9	15.4
	10 障害者への福祉サービスの取り組み	0.9	0.3	0.2	0.3	10.3	28.0	6.1	0.7	10.0	12.2	7.7	1.6	2.1	0.2	0.0	1.0	18.4

		重要度高い	重要度やや高い	重要度やや低い	重要度低い	満足・重要度高い	満足・重要度やや高い	満足・重要度やや低い	満足・重要度低い	不満・重要度高い	不満・重要度やや高い	不満・重要度やや低い	不満・重要度低い	大変不満・重要度高い	大変不満・重要度やや高い	大変不満・重要度やや低い	大変不満・重要度低い	無回答	
		1・1	1・2	1・3	1・4	2・1	2・2	2・3	2・4	3・1	3・2	3・3	3・4	4・1	4・2	4・3	4・4		
		(N=572) 単位：%																	
健康福祉	11	福祉施設などの整備	0.5	0.2	0.2	0.7	7.5	21.9	5.8	0.7	12.6	15.9	9.8	0.9	2.4	0.0	0.2	1.7	19.1
	12	健康づくりサービスの推進	1.0	1.0	0.5	0.5	6.8	29.7	11.4	2.8	4.9	12.6	9.3	1.0	0.7	0.2	0.0	0.5	17.0
	13	健康相談などの日常的な保健活動	0.9	0.2	0.0	0.3	5.2	35.1	14.5	3.0	2.4	8.9	8.4	1.6	0.3	0.3	0.0	0.5	18.2
	14	公共スポーツ施設の整備	0.2	1.7	1.2	1.4	1.9	23.1	18.9	4.9	3.3	7.7	10.0	2.4	1.4	1.6	0.5	1.9	17.8
	15	子育て支援の取り組み	1.7	0.9	0.7	0.5	6.5	27.1	10.0	1.0	8.2	12.8	8.2	0.7	2.1	0.3	0.0	0.5	18.7
生涯学習	16	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	1.4	0.3	0.0	1.2	3.5	17.0	11.2	3.0	4.4	13.3	14.5	3.1	4.4	3.7	0.5	2.3	16.3
	17	学校や地域で子どもを守る取り組み	3.1	1.4	0.0	0.3	13.8	38.1	6.8	0.9	6.8	5.9	5.2	1.0	0.3	0.0	0.0	0.5	15.6
	18	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み	0.7	0.7	0.0	0.2	7.2	26.7	8.4	0.5	8.9	14.3	10.0	1.0	1.6	0.0	0.2	0.5	19.1
	19	文化や歴史の活用などの取り組み	0.3	0.7	0.2	0.7	2.8	19.9	18.2	5.2	2.6	8.0	17.5	2.6	0.9	0.9	0.2	1.9	17.3
	20	音楽や演劇などの接する機会の提供	0.0	0.5	0.3	1.0	0.7	13.1	14.7	5.1	3.1	12.8	20.6	4.7	1.9	1.7	0.3	1.9	17.3
	21	教養を高める機会やサークル活動への参加機会の提供	1.4	1.6	1.2	0.7	3.7	30.1	17.5	5.2	0.3	5.4	12.2	2.3	0.5	0.0	0.0	0.7	17.1
安全安心社会	22	自主防災組織の強化のための取り組み	3.1	0.5	0.3	0.3	14.0	29.9	4.2	0.3	11.2	9.3	5.4	1.2	2.8	0.2	0.2	0.5	16.4
	23	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1.0	0.2	0.2	0.7	10.7	19.6	4.9	0.9	15.7	11.7	11.4	1.7	2.4	0.5	0.3	0.9	17.1
	24	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1.4	0.3	0.3	0.2	12.1	18.7	2.3	0.3	20.3	11.2	7.9	1.2	4.7	0.9	0.2	1.7	16.3
	25	夜道・盗難などの犯罪防止に対する取り組み	0.9	0.0	0.5	0.0	6.1	15.2	3.7	0.7	18.9	15.6	12.4	1.9	3.1	1.7	0.2	2.1	17.0
	26	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.7	0.2	0.3	0.2	5.6	24.0	14.3	2.1	6.3	10.5	12.8	0.9	1.4	0.7	0.0	1.6	18.5
	27	幼稚園・保育園の整備	4.2	1.0	0.5	0.2	18.0	32.0	5.4	0.7	6.8	5.6	4.0	0.2	1.6	0.5	0.2	0.3	18.7
	28	小・中学校施設の整備	3.5	0.5	0.2	0.0	19.2	32.3	5.6	0.3	6.5	5.8	4.0	0.5	1.6	0.2	0.2	0.2	19.4
生活環境	29	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1.0	0.5	0.7	0.3	3.3	21.2	15.6	4.0	3.3	11.7	13.6	2.1	2.1	1.2	0.3	1.4	17.5
	30	生活環境対策などへの取り組み	2.1	0.5	0.2	0.2	8.7	25.9	6.3	0.3	9.6	14.3	10.5	0.9	1.4	0.2	0.2	1.0	17.7
	31	ゴミの収集回数や処理方法	3.8	1.6	0.5	0.3	10.0	32.3	7.0	0.5	7.0	9.3	5.6	0.9	4.7	1.2	0.0	0.9	14.3
	32	上水道施設整備の取り組み	1.9	0.9	0.3	0.3	11.0	35.7	9.8	0.7	3.7	7.0	7.5	0.7	1.0	0.2	0.7	0.5	18.0
	33	情報通信技術(IT)の環境整備の取り組み	0.2	0.2	0.3	0.5	3.1	22.0	14.3	2.6	4.2	11.5	12.9	1.6	2.4	0.7	0.3	0.5	22.4
	34	公害の予防・防止への取り組み	0.5	0.0	0.5	0.2	5.4	28.5	10.1	1.4	5.6	12.1	11.9	0.7	1.6	0.3	0.0	0.9	20.3
	35	自然環境の保全への取り組み	0.5	0.2	0.0	0.2	4.2	24.1	14.2	3.1	4.0	10.7	13.5	1.9	1.0	0.3	0.2	0.9	21.0
	36	公園・緑地の管理や整備の取り組み	0.2	0.2	0.9	0.3	1.7	21.0	14.0	2.4	4.7	12.2	15.6	2.4	3.0	1.2	0.9	1.2	18.0
	37	公共交通の充実(バス交通など)	0.5	0.0	0.2	0.3	1.9	12.9	8.2	1.9	6.8	16.6	12.6	1.9	10.0	4.9	0.7	2.4	18.0
まちの活性化	38	各種イベントの開催	0.5	0.3	0.3	0.9	1.6	19.9	20.8	6.6	1.7	7.5	12.8	3.5	0.3	0.7	0.3	2.4	19.6
	39	空港を活用するための取り組みの推進	1.0	0.2	0.2	1.0	3.7	14.9	7.9	2.4	8.6	15.4	12.6	3.0	5.2	3.1	0.5	1.9	18.4
	40	観光誘客促進のための取り組み	0.5	0.2	0.2	0.7	2.3	11.7	7.9	0.7	9.6	18.7	12.9	2.6	6.8	2.8	0.3	1.9	20.1
	41	企業誘致の取り組み	0.9	0.2	0.2	0.3	3.7	13.8	5.1	1.2	13.5	17.1	10.5	1.4	8.2	1.7	0.2	2.3	19.8
	42	道路や河川の補修や道路や河川の整備	0.7	0.5	0.2	0.9	3.8	22.9	10.5	1.6	8.2	15.6	10.0	0.7	2.8	0.7	0.3	2.8	17.8
	43	道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1.0	0.3	0.5	1.0	4.0	20.1	8.7	0.7	10.3	15.4	11.4	1.0	3.8	1.2	0.2	2.3	17.8
地場産業等の活性化	44	商工業の振興施策の取り組み	0.3	0.0	0.2	0.2	1.9	18.7	11.7	2.1	7.7	17.0	13.3	2.6	1.4	1.4	0.3	0.7	20.5
	45	商店街の魅力向上の取り組み	0.2	0.0	0.0	0.5	2.1	11.7	9.1	2.1	6.8	19.6	14.7	3.8	4.2	3.3	0.7	2.3	18.9
	46	茶業安定のための施策の取り組み	0.7	0.2	0.3	1.4	3.1	17.0	8.9	2.3	8.6	13.5	11.2	1.4	7.5	0.7	0.5	2.1	20.6
	47	特産品の消費推進の取り組み	0.3	0.2	0.0	0.5	3.5	14.2	8.4	2.3	10.5	16.6	13.8	1.0	5.1	0.3	0.5	1.6	21.2
	48	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	7.7	5.6	0.9	12.4	21.7	13.6	2.8	7.0	3.8	0.5	3.0	19.8
	49	農漁業の担い手への支援の取り組み	0.2	0.0	0.0	0.3	0.9	9.8	8.0	1.7	10.7	21.3	14.0	2.1	4.9	2.1	0.3	2.3	21.3
	50	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	0.3	0.0	0.3	0.3	1.2	12.6	10.8	2.6	6.3	16.8	16.4	1.7	4.7	1.7	0.3	1.6	22.0

●● 1位 ●●● 2位 ●●●● 3位

問 15 問 14の 50 項目で、大変不満、及び充分満足の欄に○印をつけた項目の中で、最も不満、最も満足以感じている事項について、その理由をお教えてください

*** 「大変不満」への自由意見が比較的多い 取り組みと代表的な理由（ほぼ原文どおり）**

【6 行政改革の取り組み】

- ・全体的に無駄が多いような気がする。

【8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建】

- ・救急医療体制が十分に整っておらず、緊急事態が発生した時、市外の病院に搬送されてしまう。生死に関わることなので、非常に不安を感じる。

【37 公共交通の充実（バス交通など）】

- ・交通の便が非常に不満である。低床バスの普及が著しく低い。1日の便数が少な過ぎる。

【39 空港を活用するための取り組みの推進】

- ・せっかく空港が出来たのに、利用者は静岡県民だけで、外からの利用者がなく、地元への経済効果が少ない。

【46 茶業安定のための施策の取り組み】

- ・茶業は牧之原の主な産業の一つだが、大きく下降していて、多くの農家の収入が減っている。

*** 「充分満足」への自由意見が比較的多い 取り組みと代表的な理由（ほぼ原文どおり）**

【7 乳児医療費制度】

- ・乳幼児医療費制度は1回500円のため、子を持つ親としては助かる。

【12 健康づくりサービスの推進】

- ・健康に関する件につきましては、色々と企画を考えて下さり感謝しております。特に、健診は補助もあり、安くて近くで受けられて、一年間安心して生活出来ます。

【21 生涯学習など教養を高める機会の提供】

- ・はりはら塾は、教室数としても、内容も料金も充実している。

【27 幼稚園・保育園の整備】

- ・幼稚園などの耐震化は少ない予算で整備が進み、安心して利用出来るようになったと思う。

市の取り組みに対する自由意見は、「充分満足」よりも「大変不満」の方が、かなり多くなっている。「大変不満」と回答している理由は、医療体制の整備をはじめ、公共交通機関の充実や主要産業への施策など、多岐の取り組みに渡っている。

一方、「充分満足」と回答している理由は、健康づくりの推進や生涯学習の提供、施設の耐震化などに多く挙げられている。

<市の取り組みへの提案や意見、日ごろの生活の中で感じていることをお聞きします>

問 16 あなたが今、市で取り組むべき、取り組んでほしいと思うことについて、ご意見をお寄せください。

(ほぼ原文どおり)

【市 政】

- ・何が市の優先課題なのか、しっかり考えて市民のためになる行政をしてもらいたい。

【職 員】

- ・何と言っても人づくりだと思う。市職員が地域の中で何を今するべきか、理解されているのか疑問です。

【財 政】

- ・財源不足、不況云々と言う前に市政での経費削減に努めてほしい。不況の中、市としても無駄な支出はおさえる様努力していると思うが、1つの事に対しての手順、手続きが多く、もっと簡素化できることに対して積極的に取り組んで欲しい。

【産 業】

- ・茶業の振興なくして、牧之原市の活性化・復活はないのではないのでしょうか。リーフで飲むお茶を推進するには、市役所に出向いたお客様にもリーフのお茶を出したりする。大変でも足元から始めていかないと無理かもしれないです。

【観 光】

- ・静岡空港を効果的に運営することにより、観光、企業誘致を進め、財源を確保するための活動を行うこと。

【公共交通機関】

- ・自家用車で動ける人は感じないと思うが、運転出来ない人達の足は、考えてほしい。現在他市町に通院しなくてはならない人達はどんなに不便をしているか。

【福 祉】

- ・何とんでも榛原病院の安定です。これが形をなくしてしまうと市全体が寂しいものになってしまいます。安心感がなくなります。

今、市が取り組むべき、取り組んで欲しい事項については、多岐にわたる分野で様々な意見が挙げられているが、最も多く、かつ緊急な課題として挙げられているのは、地域病院医療の充実を望む意見となっている。

問 17 暮らしの中で日ごろ喜びや怒りを感じたり、不満に思っていることや、市長や市職員への意見などをご自由にお書きください。

(ほぼ原文どおり)

【市 政】

- ・相良と榛原という意識がなかなか抜けない。牧之原市という意識で、色々な取り組みを推進したい。相良式とか榛原式とか言っている場合ではない。もっと建設的に色々な事を考え、実施すべき。

【職 員】

- ・市職員は自分達の置かれている立場にあぐらをかいているように見える。

【道 路】

- ・道路の白線が消えている所があちこちにあり、子ども達が通学（自転車）する際、見えて危険（特に細い道）だなどと思う事が度々ある。せめて通学路はしっかりと引いてやって欲しい。

【福 祉】

- ・病院どうにかなりませんか？産科が近くに無いのでは、子どもを産もうと思えません。
- ・榛原病院をなんとかしてほしいです。地元の人間として、大きな病院がありながらとても残念です。

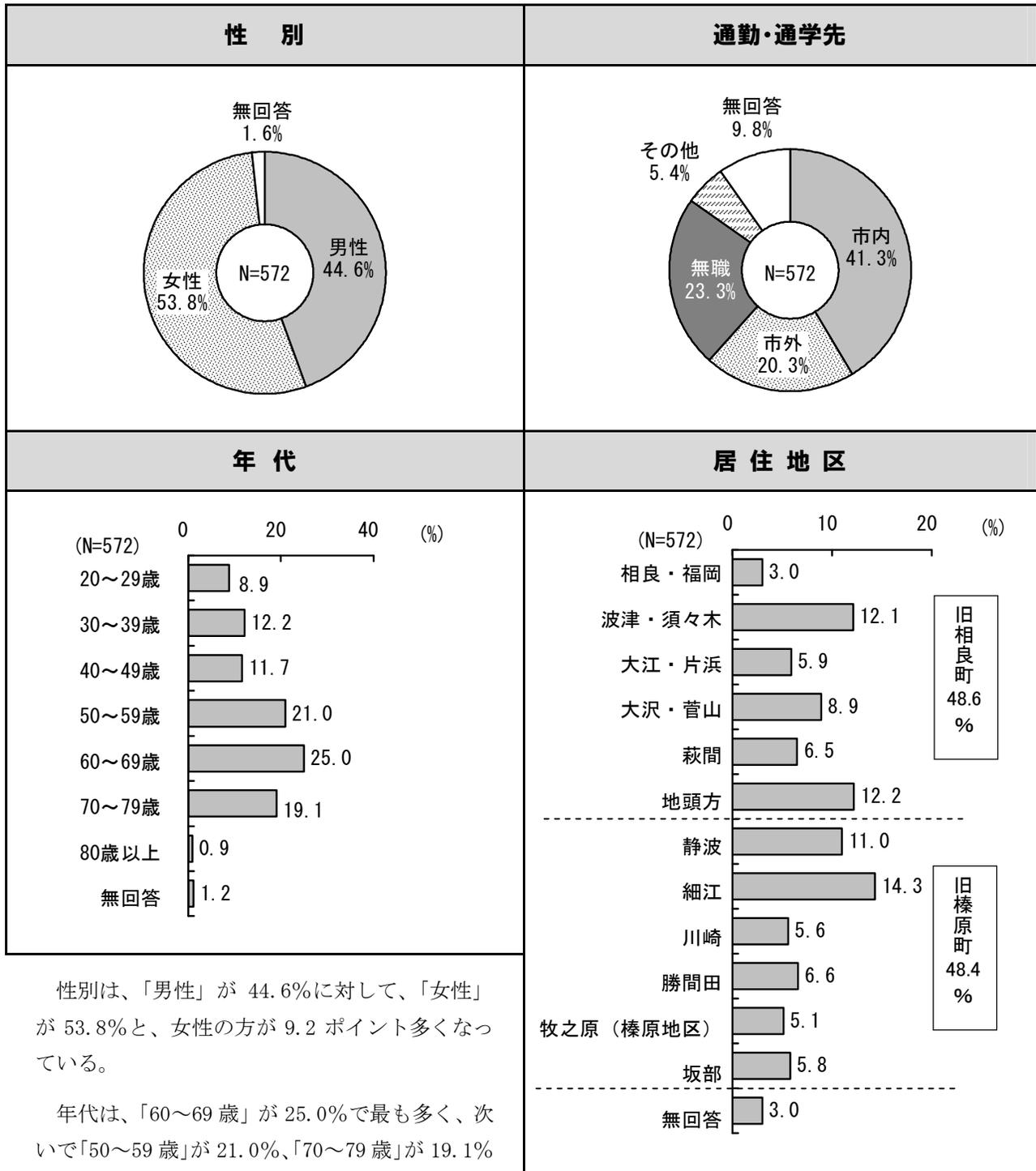
【環境美化】

- ・ゴミの分別ばかり押し付けているわりには、回収する回数が少なすぎます。プラの回収を増やしてもらわないと困ります。

問 16 の意見とかなりの部分で重なっているが、暮らしの中で日ごろ喜びや怒りを感じたり、不満に思っていることについて、様々な意見が挙げられている。その中で、件数的に最も多いものは、地域病院医療に関する意見となっている。

<最後に>

回答者の属性



性別は、「男性」が 44.6%に対して、「女性」が 53.8%と、女性の方が 9.2 ポイント多くなっている。

年代は、「60～69 歳」が 25.0%で最も多く、次いで「50～59 歳」が 21.0%、「70～79 歳」が 19.1%の順となっている。

通勤・通学先は、「市内」が 41.3%であるに対して、「市外」はその約半分の 20.3%となっている。

居住地は、「細江」が 14.3%で最も多く、次いで「地頭方」が 12.2%、「波津・須々木」が 12.1%の順となっており、旧町単位で比較すると、『旧相良町』が 48.6%、『旧榛原町』が 48.4%と、ほぼ同率となっている。

3 調査票

市民意識調査について 調査協力をお願い

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、市政を総合的、計画的に進めていくための市の指針である「第1次牧之原市総合計画」に基づき、幸福実現都市を目指し、様々な取組みを進めています。

今回のこの調査は、皆さんの意向を把握し、これからの事務事業に反映していくために実施するものです。

この調査の対象は、市内にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,300人の方々です。

今回、無作為に選ばせていただいた結果、あなた様に回答をお願いすることとなりました。お答えいただきました内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入ください。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、牧之原市の発展のため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成22年1月

牧之原市

■ご記入上にあたってのお願い

1. この調査は**あて名のご本人**がご記入ください。

※御本人が高齢等で御記入できない場合は、お手数ですが、御家族が聞取り等で御記入願います。

2. 回答は無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに(1つに○)、(3つ以内)などそれぞれ指定されていますので、お間違のないようお気を付けてください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例(①)

■[調査票の返送と調査に関するお問合せ]

調査票にご記入いただきましたら、同封しました返信用封筒により、市役所政策協働部経営企画室まで御返送ください。

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ**1月25日(月)までに御投函**ください。

この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

牧之原市 政策協働部 経営企画室 電話0548-23-0040

<牧之原市に居住することについてお聞きします>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？

1. 住み続けたい 2. 市内の他の場所へ移りたい 3. 市外へ移りたい 4. わからない

(問1で「1 住み続けたい」と答えた方にお聞きします)

問2-1 住み続けたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|------------------------|------------------|----------|
| 1. 生まれ故郷だから | 2. 自然環境が豊かだから | |
| 3. 通勤・通学などに交通が便利だから | 4. 知人や親戚が住んでいるから | |
| 5. 道路などの生活基盤が整備されているから | 6. 教育環境に恵まれているから | |
| 7. 公共施設や商店が整い生活に便利だから | 8. 会社・学校の都合 | 9. 結婚のため |
| 10. その他 () | | |

(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2-2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|------------------|----------|
| 1. 故郷ではないから | 2. 自然環境が悪化しているから | |
| 3. 通勤・通学などに交通が不便だから | 4. 知人や親戚がいないから | |
| 5. 道路などの生活基盤が整備されていないから | 6. 教育環境が悪いから | |
| 7. 公共施設や商店がなく生活に不便だから | 8. 会社・学校の都合 | 9. 結婚のため |
| 10. その他 () | | |

問3 問2-2で「3 通勤・通学などに交通が不便だから」と回答した方にお聞きします。
どのように不便ですか？ その理由を記入してください。

通勤・通学などに不便と感じる理由

問4 問2-2で「7 公共施設や商店がなく生活に不便だから」と回答した方にお聞きします。
どんな施設があれば良いとお考えですか？ その施設などを記入してください。

どんな施設などがあれば良いですか？

問5 あなたは、牧之原市に愛着を感じていますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

※「愛着」・・・牧之原市への思いを持ち続けたいという気持ちなど

- | | | |
|--------|---------|--------------|
| 1. 感じる | 2. 感じない | 3. どちらともいえない |
|--------|---------|--------------|

<合併後4年間(平成17年10月～平成21年10月)のまちづくりについてお聞きします>

問6 あなたは牧之原市となって市政全般がどのように変化したと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 大いに良くなった | 2. ある程度良くなった | 3. 変わらない |
| 4. やや悪くなった | 5. 非常に悪くなった | 6. わからない |
| 7. その他 (| |) |

(問6で「1 大いに良くなった」「2 ある程度良くなった」または「4 やや悪くなった」「5 非常に悪くなった」と答えた方にお聞きします。)

問7 「良くなったところ」または「悪くなったところ」について、ご自由にお書きください。

1 良くなったところ

2 悪くなったところ

<市からの情報提供についてお聞きします>

問8 あなたは、市からいろいろな情報が発信されていると思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------|------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない | 4. あまり思わない |
| 5. まったく思わない | 6. わからない | | |

問9 あなたは、市から発信している情報が役に立っていると思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問 10 あなたは市の取り組みや行事を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------|---------------|-----------------|
| 1. 広報紙 | 2. ホームページ | 3. 議会だより |
| 4. 新聞、テレビ、ラジオ | 5. 区、町内会の会合 | 6. 市民グループの会合 |
| 7. 議員の話 | 8. 市職員の話 | 9. 家族や知人、近所の人の話 |
| 10. 公民館や公共施設などに備えられている資料やお知らせ | | |
| 11. 特にない | 12. その他（具体的に： | ） |

< 牧之原市の協働の取り組みについて、お聞きします。 >

※協働とは、市民の皆さんと行政など、みんなで一緒になって、それぞれの役割の中で取り組むことです。

問 11 市の取り組みについて、行政と市民一緒での取り組みが進んでいると思いますか。

- | | | |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. 進んでいると思う | 2. 以前と比べ進んでいると思う | |
| 3. あまり進んでいるとは思わない | 4. 進んでいるとは思わない | 5. わからない |

(問 11 で「1 進んでいると思う」と 「2. 以前と比べ進んでいると思う」お答えした方にお聞きします。)

問 12 行政と市民一緒の取り組みが進んでいると思う分野は次のうちの分野だと思いますか。あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | | | |
|---------------|------------|------------|---------|---|
| 1. 環境への取り組み | 2. イベントの開催 | 3. 各種計画づくり | | |
| 4. 防災対策への取り組み | 5. 健康づくり | 7. 子育て | 8. 情報発信 | |
| 9. その他（具体的に | | | | ） |

問 13 以降の設問にお答えいただく前に必ずお読みください！

牧之原市が誕生し4年が経過しました。

「幸福実現都市」を目指し、市民のための市役所・フォーラムまきのはら・報徳の精神を経営方針に掲げ、また、皆様の安全安心を最優先に、まちづくりに取り組んでいるところであります。

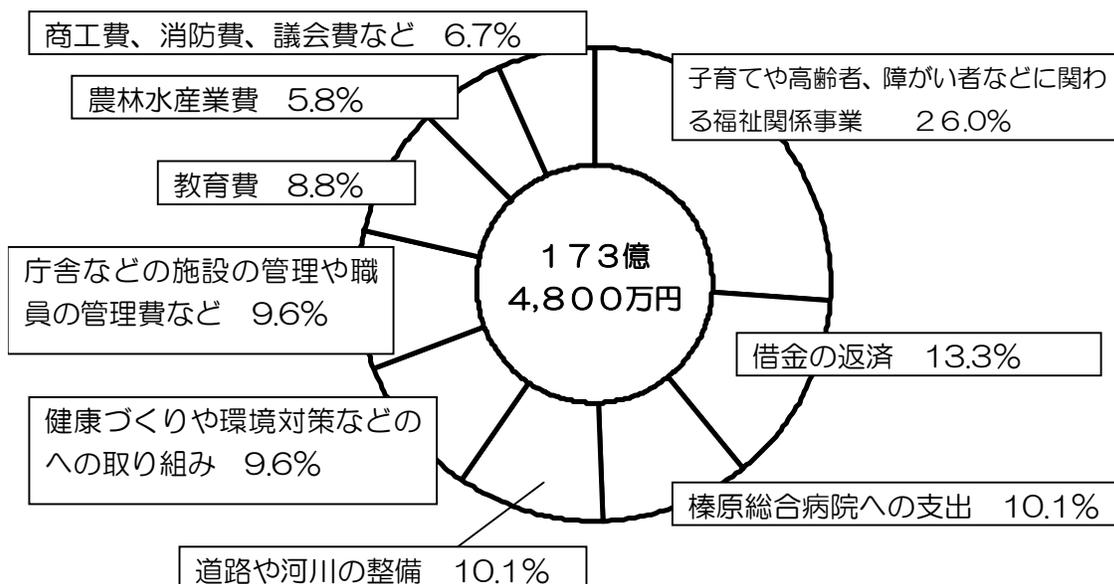
行政を取り巻く環境は、年々厳しい状況となっています。世界的な景気後退の影響により、税収の減少という状況がここ数年継続することが見込まれており、地方自治体の財政状況は一層厳しいものとなっています。

牧之原市でも例外ではありません。平成21年度には、法人市民税の大幅な減少などにより歳入の不足が生じており、事業実施に当たっては、貯金の取り崩しなどをしながら対応しているところです。

平成20年度末に約13億円あった貯金を約10億円取り崩し、平成21年度のやりくりをしています。平成21年度末の貯金は、場合によっては、底をついているかもしれません。

事務事業を実施するためには、財源（お金）が必要です。現在、計画している事業の凍結や先送りなど事業を取捨選択し取り組まざるを得ない状況が想定されます。

平成21年度一般会計当初予算における各事業への予算割合



問13 財政状況が大変厳しい状況の中、行政サービスなどについてどう考えますか？ 次の1～5のうち該当する項目に○を1つ付けてください。

1. 行政サービスの低下が生じてもやむを得ない
2. 行政サービスの低下を招くことのないよう、市民生活に直接関係のない取り組みの経費を削減
3. 全体的なサービス低下とならないよう、一部のサービスは向上させるなど、メリハリをつけた取り組みが必要
4. 行政サービスの低下を招くことのないよう、財源の確保にに取り組むことが必要
5. 行政サービス云々でなく、現状を市民に知らせることが必要
6. わからない
7. その他 ()

問14 あなたは、次の取り組みについて満足度していますか？ また、その取り組みが重要であると考えますか？ 該当する欄に○印をお付けください。（満足度・重要度の両方に○印記入）

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれることと思いますが、御家族や知人の状況、あるいは、あなたの思いや考えなどの中で、いずれかの欄に○印をつけてください。

評価項目	満足度				重要度			
	充分満足	満足	不満	大変不満	高い	やや高い	やや低い	低い
1 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
2 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み（市では協働を進めています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
3 自治会の住民自治活動への支援（財源と人）	1	2	3	4	1	2	3	4
4 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
5 旧町間の格差を取り除く、市の一体感の醸成を図る取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
6 行政改革の取り組み（効果的、効率的な取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
7 乳幼児医療費制度 （現在、未就学児まで医療費助成を行っています。 基本的には1回の受診は個人負担が500円）	1	2	3	4	1	2	3	4
8 救急医療体制の整備、榛原総合病院の存続と再建（現在、新たな医療機関と協議しています。）	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	充分満足	満足	不満	大変不満	高い	やや高い	やや低い	低い
9 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
10 障害者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
11 福祉施設などの整備(介護や障がい、精神障害のある方が利用する施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
12 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
13 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
14 公共スポーツ施設の整備(グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや無料学習塾などの取り組み、子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
16 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
17 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
18 家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
19 文化や歴史の活用などの取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 音楽や演劇などの接する機会の提供	1	2	3	4	1	2	3	4
21 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
22 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
23 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	充分満足	満足	不満	大変不満	高い	やや高い	やや低い	低い
27 幼稚園・保育園の整備（耐震化への施設整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
28 小・中学校施設の整備（耐震化への施設整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
29 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
30 生活環境対策などへの取り組み （ゴミ減量化の啓発、風や太陽光などの活用、 資源回収への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
31 ゴミの収集回数や処理方法	1	2	3	4	1	2	3	4
32 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
33 情報通信技術（I T）の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
34 公害の予防・防止への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
35 自然環境の保全への取り組み（活動団体への 支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
36 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 公共交通の充実（バス交通など） （生活交通の利便性向上（通勤・通学など） （日常の買い物の利便性の向上の取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
38 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4
39 空港を活用するための取り組みの推進 （情報発信や交流の推進）	1	2	3	4	1	2	3	4
40 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
41 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
42 道路や河川の補修や道路や河川の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
43 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
44 商工業の振興施策の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	充分満足	満足	不満	大変不満	高い	やや高い	やや低い	低い
46 茶業安定のための施策の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
47 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
48 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
49 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
50 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4

問 15 問 14 の 50 項目で、大変不満、及び充分満足の欄に○印をつけた項目の中で、最も不満、最も満足に感じている事項について、その理由をお教えください。

「大変不満」の理由をお書きください。
 （大変不満の中で最も不満と感ずる項目についてお書きください。）

「充分満足」の理由をお書きください。
 （充分満足の中で最も満足と感ずる項目についてお書きください。）

問 16 あなたが今、市で取り組むべき、取り組んでほしいと思うことについて、ご意見をお寄せください。

問 17 暮らしの中で日ごろ喜びや怒りを感じたり、不満に思っていることや、市長や市職員への意見など

<最後に>

あなたご自身のことについてお聞きします。それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

1 あなたの性別は？

1. 男性	2. 女性
-------	-------

2 あなたの年齢は？

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳
5. 60～69歳	6. 70～79歳	7. 80歳以上	

3 あなたの通勤・通学先はどちらですか。(○はひとつ)

1. 市内	2. 市外 (市・町)	3. 無職	4. その他 ()
-------	--------------------------	-------	-----------------------

4 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡	2. 波津・須々木	3. 大江・片浜	4. 大沢・菅山
5. 萩 間	6. 地頭方	7. 静 波	8. 細 江
9. 川 崎	10. 勝間田	11. 牧之原	12. 坂 部

ご協力ありがとうございました。

**お手数ですが、同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストに
1月25日(月)までに御投函ください。**

**※設問に対するお問い合わせは、牧之原市 政策協働部 経営企画室 電話0548-23-0040
までお願いいたします。**

平成 21 年度
牧之原市市民意識調査
報告書

発行 平成 22 年 3 月
発行者 牧之原市
企画・編集 政策協働部 経営企画室
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059
E-Mail seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>